



編集・発行 公益社団法人  
**日本プロテニス協会**  
 広報委員会  
 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35  
 御殿山トラストタワー1階  
 TEL:03(5791)1965 FAX:03(5791)1966  
 E-mail:kyokai@jpta.or.jp  
 URL:http://www.jpta.or.jp



2012年度 JPTAコンベンション 2012.11.12-13

# JPTA news

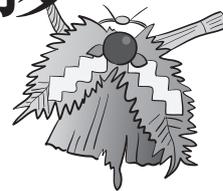
vol.198 2013年 1月号

## CONTENTS

- ◆ 新年のご挨拶 ..... 1
- ◆ 「時の人」 右近 憲三氏 ..... 2~5
- ◆ 指導技術 指導編  
 「ナショナルチームへの指導」 ..... 6~7
- ◆ 指導技術 技術論  
 「世界基準を見据えたうえでの低年齢の指導」 ..... 8~11
- ◆ プロプレーヤーインタビュー ..... 12~13
- ◆ 2012年度 コンベンション開催報告 ..... 14~18
- ◆ 平成25年・26年度  
 役員候補者選挙に関するご案内 ..... 19
- ◆ ログマーク変更のお知らせ  
 オフィシャルホームページリニューアルのお知らせ ..... 20~21
- ◆ 委員会報告 ..... 22
- ◆ ジュニア育成委員会 育成強化プログラム ..... 23~24
- ◆ 会員人物紹介 ..... 25
- ◆ 地区便り (九州地区) /  
 地区会開催報告 ..... 26
- ◆ 行事予定 / 会員サービス ..... 27
- ◆ プロテスト委員会UPテスト合格者 /  
 プロテストスケジュール ..... 28
- ◆ 新入会員挨拶 ..... 29
- ◆ 事務局よりご案内 ..... 30
- ◆ MIXI登録・申請について ..... 31
- ◆ 公認推薦賛助企業 / 編集後記 ..... 32

## 新年のご挨拶

理事長  
 佐藤 直子



JPTA会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

昨年は協会設立40周年の記念すべき年となり、諸先輩方のご苦労と努力があってこそこの40年と大変感謝しております。

また昨年は錦織圭選手のジャパンオープン優勝、そしてロンドンオリンピックベスト8。100位以内に日本人男子選手が3人もランクインするという素晴らしいニュースが、日本のテニス界を活気づけてくれました。やはり、何と言っても日本人選手の活躍が、ジャパンオープンの観戦者数を増やし、有明コロシアムを満員にするということが、よくわかりました。

しかしながら、まだ日本の女子も男子も四大大会のシングルスでの優勝が叶っておりません。

先日、元ITFの副会長でいらした川廷栄一氏とお話した折、「日本人はみんな錦織君がウィンブルドン等において優勝しないかと願っている。しかし、そんな小さな夢ではダメだ。フェデラーやボルグのような、長期にわたってNo.1であり続け、歴史に名が残る日本人選手を出すこと、育てる事を目標にしないといけない。」とのお考えを伺いました。それは「夢は高いところであればある程良い。すごく高ければ、たとえその少し下で夢破れても、かなり高いところにいるのだから。」と日々講演で言い続けている私の信条と重なり、大変感銘を受けました。

選手を世界へ輩出してゆくには、コーチも世界のテニス事情に精通していなくてははいけ

ません。そして、世界のテニス事情に精通するには、選手だけでなく、コーチもどんどん海外へと出て行くべきではないでしょうか。

それは勿論、日々の仕事の中で簡単なことではありません。最新の世界テニス情報を持っているコーチの話聞き、海外で見たレッスン方法を教えていただく勉強の場づくりを、今年私達JPTAが率先して行っていきましょう。

自らが学ばずに、何を選手に教える事が出来るのでしょうか。自分が苦労せずに、選手を叱咤激励しても、選手はついてくるのでしょうか。外国人選手が、日本のコーチを慕って、レッスンを受けにくるような時代を、私たちが今から創らなくてはなりません。

戦後右肩上がり成長していた日本の企業も今とても厳しい状況の中にいます。日本プロテニス協会も40周年を迎え、安定に甘んずることなく前に進み続け、これからどのように舵取りしていくかが私の役割とっております。

最後に、JPTAでは新年度より、新しいロゴマークを使用開始いたします。今年は、チャレンジの年にしたいと考えます。チャレンジによってのみ飛躍することができるからです。そして、それこそが会員の皆さまの仕事に生活に必ずやお力になれるものと確信してやみません。

末筆ながら、皆様のご健勝とテニス界の発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

# 「時の人」

とき  
の  
ひと  
右近 憲三氏  
Kensou Ukon

「時の人」では、テニス界のみならず、様々な分野で活躍されている方にお話を伺い、視野を広げてテニス界を盛り上げるヒントをみつけていきたいと思います。

第5回目は、本誌2009年9月号でJOCナショナルコーチご就任をお祝いし、「ウコンの力で！頑張れ！」とエールを送らせて頂いた右近憲三さんに、ロンドンオリンピックでのサポートを終えられるまでの4年間で振り返ってのお話を吉田友佳理事が伺いました。



全日本選手権の会場有明で右近さんにインタビューをさせて頂きました。

**(吉田)** 今回JPTA会員会報誌「時の人」というコーナーで右近プロの特集インタビューをお願いする事になりました。不慣れですが、よろしくお願ひいたします。

**(右近さん)** よろしくお願ひいたします。

## ロンドンオリンピックメダル獲得に向けてのナショナルチームの思惑

**(吉田)** では早速ですが、JOCに就任されてからロンドンオリンピック開催まで、どのような時間を過ごされていたのでしょうか？

**(右近さん)** ロンドンオリンピックまでの4年間の就任(JOC)契約でしたが、実際は一年毎契約更新でした。私たちの当初の目標は、男女ともにオリンピックに出場し、メダルを獲得することでした。

ナショナルチームの思惑では、圭(錦織)と、伊達選手のミックスダブルスが一番メダルに近いと思いました。その理由として、ミックスダブルスのドロー数が16であること、同一国の選手で4大会(グランドスラム)で出場しているペアであること。これらの条件をクリアしているペアはそれほど数がなく、一番獲得出来る確率が高いのでは



ないかと考えていました。

しかしながらミックスダブルスでオリンピックに出場するには、男女ともにシングルスでの出場選手であることが条件という特別なルールがあり、残念ながら締切り時点で森田選手と伊達選手のランキングが少し下がってしまい、条件が満たせず当初の目標は崩れてしまいました。

しかし、圭が頑張ってくれたお蔭で、豪(添田)と竜馬(伊藤)に火がつけました。私たちは2011年の年末に、彼らの(オリンピック出場に向けて)シュミレーションをしました。

まず、オリンピック当確ラインまで残り何ポイント取得する事が必須条件かを算出し、出場大会を絞りました。オリンピック出場の可能性に向けて、大きな大会にチャレンジするのではなく、チャレンジャー、10万ドルクラスの大会で優勝することを彼らの目標としスケジュールを組みました。ディフェンドのポイントが無かった事も影響し彼らにとって追い風となりました。

結果、見事に2人で勝ち残り、豪は目標としていた台湾の大会で優勝、そして次の大会韓国で竜馬が優勝、みごとにギリギリのところ決めました。

**(吉田)** それは凄いですね！その状況で毎日結果を聞くのはさぞ緊張されたでしょう？

**(右近さん)** 毎日インターネットで、結果をチェックしながら、「よく頑張った！」と思いました。



**(吉田)** オリンピックに向けてギリギリのところまで頑張った事が、結果的にグランドスラムにも出場できるようになり、自信もついて、男子の活躍に繋がったのではないのでしょうか。

**(右近さん)** そう思います。

## ナショナルチームのサポート

その後デビスカップを戦うために圭が戻り杉田が入り、インド戦に勝った時はチーム一丸となり、彼らの中で、本当に良い刺激になったと思います。2011年末には圭がジョコビッチに勝利し、本当に良い方向に向かいました。

**(吉田)** 素晴らしい流れでしたね。

**(右近さん)** 私たちは移動型NTC (ナショナルトレーニングセンター) と呼んでいますが、NTCでの練習と同じように、増田健太郎コーチが遠征に同行しピンポイントで選手を見ることができました。しかし、潤沢な強化予算がない中で、どうやって男子を強化していくのか、竹内映二さん (前デビスカップ監督) はとても苦労されていたのではないのでしょうか。初年度の移動型NTCの目的は重点強化選手として豪のランキングを引き上げる事でした。100位まで昇り詰めることが出来たので、次は竜馬を引き上げようと同じようにサポートしました。

**(吉田)** 計画的に次々と強化を行われてきたのですね。

**(右近さん)** 先ほどもお話しましたが、竹内映二さんたちが今まで計画的に指導をされてきた結果が今、出てきていると思います。ようやく花を咲かせてきた段階だと思います。

**(吉田)** 私たちの世代には、朝日生命のナショナルセンターがあり、本当にうまく活動ができていました。その後、少し形を変えてきましたが、今後はもっと数値化し情報を分析することが必要となりますね。

**(右近さん)** そうですね…。勝負の世界は常に結果を求められるので、情報戦略担当の池田が色々な事を調べ、情報分析等を行い、手段等を数字や表にしてくれるのでとても解りやすくなりました。

また、NTCができたおかげで、豪も竜馬も近くに住み、そこを拠点として、遠征から帰るとすぐにそこに戻り練習ができるという状況ができたので、非常にナショナルトレーニングセンターを有効利用できていると思います。



**(吉田)** やっぱりあるからこそ! 有効に活用しているのですね。

**(右近さん)** そうですね。確かにコートは2面しかありませんが、トレーナーがいて、活動拠点があるという事が大きいですね。

**(吉田)** それはよくわかります!

**(右近さん)** 例としてデビスカップの前に、オーストラリアで開催され負けた試合がありました。その後、豪は南米から100位に入る目前まで、トレーナーとずっと一緒に回っていました。

**(吉田)** 確かに、ずっと一緒に海外ツアーを回っていらっしゃいますね。以前と比べて最近はトレーナーの存在が当たり前になっていますよね。

**(右近さん)** 個人でトレーナーをつけるのは大変です。本来は年間を通じて同行できれば最高ですが、今の所は4大会に必ずトレーナーが同行し、出場メンバーをサポートできる体制を整えています。

**(吉田)** 昔思い描いていた事が今は形になりつつありますね。例えば当時私もトレーナーをつけたいと思いましたが、なかなか難しいところもありました。今は変わってきましたね。そして「女子に比べてもっと男子の世界進出を…」といわれていた時もありましたが、今は男子の勢いがすごいですよね!

**(右近さん)** そうですね。逆になりましたね。友佳ちゃんたちが出ていた時、ツアーを回っていたのは10人ぐらいでしたか!?

**(吉田)** 11人出ていた頃がありました。やはり引っ張る選手がいると、今の男子のように色々な効果がでてくるでしょう。

## ロンドンオリンピックについて

**(吉田)** 実際にオリンピックに帯同されて、選手の活躍を身近で見てどう感じられましたか?

**(右近さん)** 今回3人の出場選手に対して選手以外は1人のパスのみが与えられ、村上監督だけが選手周りのサポートができる状況となり、パスがもらえない私達スタッフはどのようにサポートすべきかを色々考えました。また、選手村とウィンブルドンの距離があまりにも遠く、移動するのに早くてもバスで1時間以上かかるのでとても大変でした。

**(吉田)** 不便ですよ!

**(右近さん)** 私たちはあえて選手村の近くではなくウィンブルドンの近くに家を借りる事にし、結果的にそこで良いサポートができました。圭が2回戦途中でセンターコートに移動して勝ちましたが、試合終了後の取材やインタビューを受け、1時

間かけて帰宅し、夕食を取り、マッサージをすると12時を超えてしまう。そこで吉は、私達の所に泊まる事にしました。そうすると時間的に3時間程度のアドバンテージとなるため、負けるまでずっとそこに泊まることになりました。会場までは徒歩15分程度で、最初は遠いと思いましたが、1時間半かけて選手村に帰ることを考えればまだ良いかと。そして、運が良かったのはその家を借りることが出来た、いきさつでした。

かなり前からウィンブルドン付近で家を探しておりましたが、中々良い物件がなく、たまたま大学時代の後輩の友人が近くに住んでいるということを知り連絡したところ、大会期間中、その家に後輩が私たちと一緒に住んでもらえるのなら貸してくれるということになりました。

**(吉田)** ああの周辺の良い物件は、何年も前から確保している方が多いですね。

**(右近さん)** そうらしいですね。エージェントを通すと高いという話も聞いていました。ですから彼女のサポート、それが一番大きかったですね。毎日おにぎりを二十何個も作ってもらいました。

**(吉田)** その貢献度も大きいですね。

**(右近さん)** そうですね。非常に大きいですね。本当に人のつながりの大切さを感じました。

**(吉田)** 選手に試合に向けて集中させる環境を作るのは大切ですよ。

**(右近さん)** そうですね。そして、私に出来ることはそれぐらいでした。

**(吉田)** それこそが大事な事ですよ。その結果、錦織くんのベスト8という活躍には興奮しました。

**(右近さん)** そうですね。フェレールとの試合ではファーストセット6-0で、完璧でした!

1セットのうちポイント落としたのは本当に数えられるくらいでした。

**(吉田)** ああのトップの選手からですからね。

**(右近さん)** 完璧に圧倒していたので、さすがにセカンドセットはちょっと混乱していましたが、見事でした。

**(吉田)** センターコートに移動して一気にセットを取りましたよね。あの間、選手とコンタクト取ることではできましたか? それとも選手はそのままコートに入ってしまったのでしょうか?

**(右近さん)** 健太郎は多分コンタクトでき



たと思いますが、私はできませんでした。

**(吉田)** ああ後は、本当に一気に決めましたね。すごかったです。あの活躍はテニス界においては大きいですね。

**(右近さん)** 大きいと思います。そして豪と竜馬が出場して、豪はバグダティスにファーストアップして、セカンドもあと少しで勝ちそうでしたが、順延になり流れてしまいました。

**(吉田)** ダブルスも凄い頑張りでしたね。

**(右近さん)** 勝つかと思いました。

**(吉田)** フェデラーに対してでしたよね?

**(右近さん)** そうです、そうです。フェデラーとバブリンカのペアとでした。ファイナル4-6か5-7でしたが、勝ってもおかしくないぐらいの内容の濃い試合でした。

**(吉田)** 男子のダブルスも今後期待できますね。

**(右近さん)** 何年か前までは、日本男子が世界で戦うには身長が190センチ以上あり、良いサーブ打てて、かつ良いフォアハンドが打てなければダメと言われていましたが、結局180センチ位の彼らがあの場合でも戦えると示してくれたので、日本人でもチャンスがあることを証明してくれたと思います。

**(吉田)** それは明るいニュースですね。

## 今後の日本の選手に望むこと

**(吉田)** オリンピックでの選手の活躍を見ると、もちろん男子はこのまま頑張っていけばさらに希望が持てますね。錦織君を始め、添田君と伊藤君も勢いがすごいですし、守屋君もいますね。

**(右近さん)** 守屋も前回の全米で予選に上がり、先日のタイの大会で1回戦オランダの選手に勝ってツアーの初勝利をあげました。

**(吉田)** 楽しみですね。あとは女子にも頑張ってもらいたいですね。

**(右近さん)** そうですね。女子も先週、土居と奈良がベスト4に入り、またHPオープンでもベスト4に入った。おそらく土居は、



もうすぐランキングは二桁台に入らなう。ここで奈良も100位以内に入らうまく2人で引張らうと、次の選手達もついてきてくれるらと思います。

**(吉田)** 今回の全日本選手権でも、右近さんは選手に近い立場で力になってらだらているらと思いますが、実際の所、選手を見てらいていかがお考えですか？

**(右近さん)** やはりスポンサーあつての大会運営ですし、自分達やらっている練習をアピールできる場が大会ですから、その大会のスポンサーやスタッフにも感謝できるらような選手であるべきだと私は思います。なので、まず細かい指導、「自分の飲み残しのゴミは自分で捨てる」から始めました。

**(吉田)** それはすごく大事なことですな。

**(右近さん)** 実は私も選手の時にはそんなことは考えなかつたですけれど。

**(吉田)** いやいやいや有名です。右近さんはピシツときれいにされてらいたと伺つてらいます。

選手には、人としてもすべてが見本になるらような選手であつてほしいと願つてらいます。

**(右近さん)** そうですな。そうなつてほしいです。そして選手が社会的に活躍し、どんどんテニス界が広がらうと、結果的にいろいろなことうまくいくらと思います。本当に是非テニス界を広く発展させたいです。

### JPTA会員の皆様へのメッセージ

**(吉田)** それでは最後に、右近さんからJPTA会員の皆様へメッセージをお願いします。

**(右近さん)** 日本人も世界で戦えるらという事、そのため出来る事が見えてきたので、是非目標は高く持ち、継続して努力してらう事が大切だとつくづく感じました。今後とも応援とご協力をよろしくお願ひ致します。

**(吉田)** 右近さん、今日はあらうございました。

**(右近さん)** たらうございました。



### ～ オフの右近プロ ～

大好きな魚釣り  
東の間の休日  
—日本海にて—



# 選手育成

## ナショナルチームへの指導

増田 健太郎：日本テニス協会ナショナルチーム・アジア大会男子代表監督／デビスカップ代表コーチ



前回の第1部では現役の時から感じていた世界への壁と、私がスペインで見た彼らの取り組み、そしてその基準の違いをお伝えいたしました。

今回の第2部では、2007年にナショナルトレーニングセンターが設立され、ナショナルメンバーが集まり練習が開始された中で、ナショナルコーチとして私が指導を行い、どのようなシステムを構築して、現場での取り組みを行っているかをお伝えしたいと思います。

### オンコートでの指導

はじめにオンコートでの指導ですが、下記の3つの事を主なコンセプトとして練習を行いました。

1. フィジカルの向上
2. スイングスピードの強化
3. コースを変える技術力

#### 1. フィジカルの向上

当時の日本人選手に最も不足していたものはフィジカルの強さです。良い試合はするのだけれど最後は負けてしまうというのが、日本人選手の印象としてあるのではないのでしょうか？

以前、世界的に有名なコーチであるボブ・ブレッッド氏がナショナルチームのスーパーバイザーだった頃、選手達に行っていた練習内容はとてもハードなものでした。手法は違いますが、私が経験したスペインでの練習内容と同じレベルのものでした。

クレイコートで勝つ為にプログラムされた練習が多いのがスペインの特徴ですが、私はそれに、ハードコートで必要なテクニックを養えるようにアレンジをし、同じような負荷を与えられるようにプログラムして日々の練習を行いました。

フィジカルが向上すると、疲れによる集中力の低下がなくなり集中力が保たれます。集中力が保たれると、更に負荷の高い練習が可能になる上、長時間の練習にも耐えられるようになり、一日の技術的な練習量が増えるので技術の習得が早くなってきます。

これらを繰り返し行う事で選手達によりハードな練習を施し、体力の強化と技術の向上を行いました。体力不足が原因で試合に負けたり、後半力が出し切れないという事が絶対になくなるレベルまでフィジカルを徹底的に強化していきました。



#### 2. スイングスピードの強化

日本人選手に足りていないものの一つに、スイングスピードという課題がありました。これは日本の選手が育ってきた環境に大きく影響するものですが、球足の速いコートで、バウンドの低いボールを打っていると、スピードとタイミングでボールを飛ばすようになり、ボールを自分から打つという事が身に付かなくなってしまいます。

海外での試合に参加すると、球足の遅いコートが多く、ボールのバウンドも非常に高いので弾道の低いボールでは有効なショットにはなりません。それよりは、ボールがバウンドしてから威力のある回転のかかった弾道の高いショットの方が断然、効果的になってきますし、ボールを自分から打つことで、ゲームの主導権を握り、試合を自分のペースで進める事が出来ます。

この技術に乏しいと、どうしてもカウンターを狙うプレースタイルに落ちてしまい、いい形でポイントが取れていても、結局は相手のペースで試合を進める事になり、結果負けてしまうという、よくある『良い試合をしたのに勝ちきれない』ケースになってしまいます。ナショナルチームでの練習ではとにかく自分からボールを打たせました。

ボールに回転を与え、線で狙うショットではなく、点を狙えるようにボールの落とす位置を意識して、コートを広く使って狙える技術の練習を行いました。1球1球を全力で打つには、毎回正確な位置に入らなければならなくなるので、ボールに入る動きも良くなり、正確な打点に入る為のポジショニングが意識されるようになります。チャンスボールの練習をひとつ例に上げると、ボールを多少散らしながら配給して、常に動かしながら一人で100球近くのボールを連続で打たせるようにしていました。自分から全力で100球近くのボールを打ち込み続けるのは、かなりの負荷がかかります。こうしてどんな状況でもチャンスボールが来たら体が自動的に反応して、正確にボールを打てる打点に入り、全力で打ち込むという事が出来るようになってきます。

このようにスイングスピードを強化し、試合の後半でも持続出来る為の練習を行いました。

今では普段のラリーから、選手自らが世界で勝つためのスイングスピードの意識を保ち、常に高いレベルでボールを打つという事を行えるようになっていきます。

#### 3. コースを変える技術力

技術的に意識させた事はボールの配給でした。世界のトップ選手と200位辺りの選手を比べても正直、あまりボールのスピードは変わりません。大きな違いは何かというと、ボールをコントロール出来る技術の差が非常に大きいのです。トップ選手の展開の早さは尋常ではありません。このコントロール力に耐えられず、ランキング下位の選手はトップ選手と試合を行うと、簡単なミスを繰り返し、オーバーパワーして無理なショットを決めに行き、失敗して自滅してしまいます。

グランドスラム等で5セットマッチの最初のセットをとっても、最終的に上位の選手が勝つのはこの辺りの技術力の差が非常に大きいからなのです。この技術を習得する為には、ラリー練習でもコースを指定して常にコースチェンジをする練習を多く取り入れ、ボール出しのドリルでもコースチェンジを常に行うような内容のものを多く取り入れられました。

テニスはボールが来た方向に返す事が一番簡単な返球になります。しかしポイントを取る為となると、相手を走らせた方がミスは誘えます。コースチェンジすることはリスクを伴いますが、そのリスクを恐れない選手が上位に行けるのです。ナショナルチームの指導ではこの部分を徹底的に強化しました。特にバックハンドでのクロスコートからストレートへの返球には時間をかけて取り組み、同じ場所でのラリーを避ける事で、展開力を身に付けるようにしました。

これにより、彼らは相手選手の運動量を大幅に上げる事が出来るようになり、試合を有利に進め、接戦になった試合を最終的にものにできる事が可能になりました。

## トレーナーとの連携

### 1. フィジカルトレーナーとの連携

オンコートでの指導の他にオフコートでの指導も体を作る上でとても重要になってきます。選手のトレーニングを担当するフィジカルトレーナーと、コンディションを整えるケアトレーナー、そして体調を管理するドクターとの連携を取り、選手達のコンディションを把握するようにしました。

フィジカルトレーナーとの連携では、トレーニングメニューを確認し、その日行うトレーニングや前日に行ったトレーニングの量や負荷を考慮して、オンコートの追い込み具合を変更することにより、選手の疲労度を把握するようにして、効率の良い練習メニューを作りました。そして、オンコートの練習だけではなかなか指導しきれない、動作の部分等をフィジカルトレーナーに伝え、トレーニングで克服してもらえよう協体制度を作りました。

具体的には、姿勢が高く重心の下がらない選手に対して、トレーニングでそのポイントを強化してもらい、また細かいフットワークが苦手な選手に対して、それに耐えられる筋力とその運動動作を、それぞれトレーニングを通じて指導してもらいました。このことにより、私たちはオンコートでのテニスの指導に専念することができ、トレーニングも今現在選手が必要としている動きや、筋力の部分を効率よく指導する事が可能になりました。

### 2. ケアトレーナー、ドクターとの連携

選手にいつもハードな練習を要求していると、怪我というものに非常に敏感になってきます。ケアトレーナーとは、常に連携をとって選手の疲労度を確認するようにしました。治療に行った選手がその日、何を訴えたか、そしてトレーナーから見ての疲労度等を確認し、怪我に繋がる痛みか、オーバーワークになっていないかの判断をするようにしました。

その他にも体を触って足りていない筋力や柔軟性など、オンコートやオフコートでの必要な取り組みが他にないかの判断もするようにしました。ドクターには主にドーピングについての新しい情報や、薬を処方された時の確認、海外での気候に対する注意点など様々な相談をしました。例えば、遠征先が暑い国の場合、どの程度で暑さに

慣れるかの体のメカニズムやその対処法、水分補給の方法等です。

この連携により、試合中の選手の痙攣に対する不安が大きく解消されることになりました。このような連携がなければ必要かという、選手は年間を通じて良いパフォーマンスを出さなければランキングの向上は見込めないからです。練習だけを行いテニスを上達させても、身体に対しての意識を磨かなければ、年間を通じてのハードな遠征スケジュールがこなせないのです。

これらの連携により、疲労や怪我への早期の対処が出来、大きな怪我や故障もなくチームのメンバーは練習、トレーニング、遠征をこなしてランキングを向上させる事ができました。

## 遠征への帯同

日々の練習に加え、遠征でのサポートを計画的に行いました。強化指定選手の名目で添田豪選手に続き、数年前から伊藤竜馬選手の遠征に帯同してサポートをしました。

私は選手が遠征先でも効率良くレベルアップが図れるように、試合会場では試合に向けての練習、練習相手の手配、そして試合後の練習やトレーニングを実施しました。

練習期間だけではなく、ツアーを回りながらでもいかに上達につながる練習やトレーニングを行えるかは、ほとんど試合に追われる選手にはとても重要な課題になります。

コーチの帯同がない場合、他の選手と打ち合う練習のみになってしまう、試合期間中に自分の為の練習が行えなくなります。そして客観的にプレーを観られないので、課題が見えず、次にやるべき事が明確にならないまま、また同じ失敗を繰り返してしまいます。こういった部分を効率よく上達していく為に、遠征先のサポートを充実させ、遠征先で強化を行う事で、ランキングの向上の為の活動が年間を通じて行う事が出来ました。

## まとめ

以上のような指導と、システムを組んでナショナルチームをサポートし、国内から2名のTOP100位の選手を生み出すことが出来ました。もちろんこの成果は選手がそれぞれハードな練習やトレーニングに耐え、日々海外を転戦しながら成し得た努力の結果であると思います。

選手強化とは、選手の強化が出来る環境を作り、設定した目標に向かって選手が日々上達するのを感じられる明確な指導を施し、そのシステムを継続させる事だと私は考えております。

私はスペインで得た経験を日本の選手に施せば、間違いなくTOP100位は行けると信じておりました。日本の選手は勤勉で、努力をする事を惜しみません。これは立派な才能だと私は感じております。その努力を無駄にしない練習内容を与えれば、日本国内からでも世界に通用する選手が生まれる事が、添田、伊藤の活躍によって証明されました。

手法は様々な方法があつていいと思います。私は、スペインという環境で見て来たものの強化の基準を取り入れ、その他にも様々な国で見て来た練習方法を取り入れて、練習を行っております。大切な事は手法ではなく、その練習内容の強度だと思っております。その適切な基準を知っていれば、日本人選手もこうして世界で戦えるという事を証明してくれました。

今後は、更に様々な所から彼らに続き、素晴らしい選手が日本から生まれ、育ってくれる事を心から願っております。

ナショナルチームのメンバーが日々練習を行っております、ナショナルセンターの運営は皆様のご支援によって運営がなされております。この感謝を日々感じながら選手や我々スタッフは活動を続けております。これからも日本の選手達が世界で活躍できるよう強化に努めて行きたいと思っておりますので、応援よろしくお願い致します。



# 世界基準を見据えたうえでの低年齢の指導

～U14までに子供達に何を植え付けるべきなのか!?～

ナショナルチーム ワールドジュニア女子監督 中山 芳徳

## まずはじめに

「Tennis is no formula!」テニスにおいて成功への道は、さまざまであるという事。そして100人チャンピオンがいたら、100通りの道筋があるのが現実です。一方、現代では多くのスポーツで研究が進み、トレーニングのクオリティーが上がっており、多くのアスリートが人間の限界に近いパフォーマンスを出せるようになってきました。

テニスも図1のようにピークが24～26歳で、しかも高い水準のままでパフォーマンスは達しており、選手寿命も長くそしてある程度レベルの高さを維持できています。つまり心・技・体が成熟していかないと、この完成度の高いハイパフォーマンスには到達できない事を意味しています。黒い線のように低年齢から勝利主義でディベロップしてしまうと、ほぼ10代での未熟なテニスで生涯戦う事になり、それでは到底、今の

トップテニスには通用しないですし、テニスも未開発のままピークを向かえ、その後は下降線を辿ってしまいます。

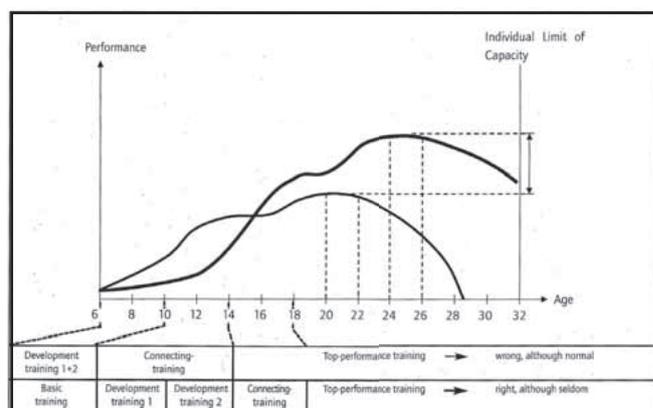
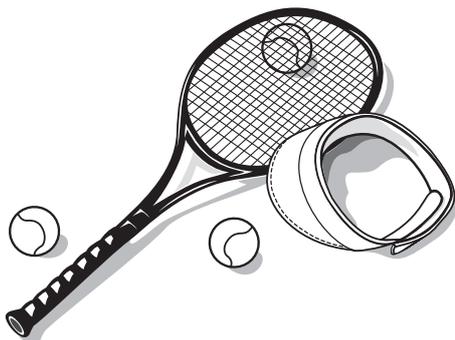


図1

## What's tennis ?

次に我々は、このWhat's tennis ? 「テニスって何?」にもう一度立ち返る必要があります。どうしてもテニス自体が技術先行型のスポーツであり、その技術を極める事に目が行きがちです。しかしテニスは、オープンスキルのスポーツであり、相手とのやり取りがあるスポーツです。その相手とのやりとり(テニスの中ではラリーの連続)をする中で、いかにポイントをとるのかを競うスポーツです。つまりテニス=ゲーム(Tennis is Game)! 我々は、「技術はゲームを楽しむための手段」である事を伝え、技術を指導すると同時にゲームでの使い方も指導していかなくては、いけないという事です。そして、テニスがあるゆる人にとって生涯スポーツとなるよう、テニスというゲームの楽しさを伝えなくてはならないと、私は考えます。



## 低年齢からのテニス指導

～システムチックなアプローチによる育成～

そしてテニスが、ゲームであるという観点の一方で、技術を習得していくうえで、我々が理解していかなくてはならない、いくつかの要素をここでは説明していきたいと思います。

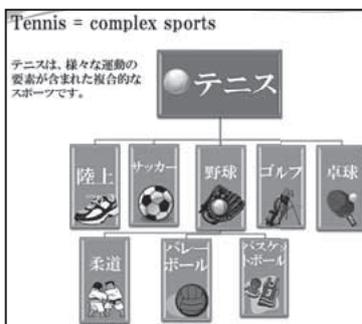


図2

図2は、テニスが他の様々なスポーツの要素が含まれた複合的なスポーツであることを、イメージしたものです。陸上のスプリント、サッカーのような様々な方向への切り返しのフットワーク、野球の投球動作、ゴルフのように道具

を扱う動作や、卓球のような動作のリズムやバリエーション、柔道のような重心の低さ、バレーボールでのダイナミックなバランスでの肩の使い方やバスケのスピード持久力などなど。

スポーツビジョンの観点においても、サッカー、野球、卓球、バレーボール、バスケットボールなどは、神経系が発達な時期（ゴールデンエイジ）に必要な要素を育成する事ができます。

そして我々のこの複合的な要素を持つテニスというスポーツを、長期計画の下に子供たちに技術習得から戦術の習得、さらにはフィジカル、メンタルというファクターを指導しなくてはならないのは、皆さんもご存じのとおりです。

図3は、最初にお話致しましたように、トップテニスのピークは、22～24歳以降を目標とすべきで、それに向かって約16年の年月をかけて、選手を計画的に強化育成していく表です。

多くの子供たちは5～8才にはじめているようですが、14,15歳までしっかりとしたベース作りを目標とし、図3ではディベロップが大事な時期となっています。それ以降は、よりテニス専門のトレーニングが増え、また遠征を通して、より多く、そして様々な環境の中で自分のプレースタイルの確立と、それへの適応が求められる時期に入っていきます。

今回お話しさせていただくのは、テニスカリヤの中で一番パフォーマンスの伸びる13～18歳（コネクショントレーニング）の時期の手前の、ベーシック・ビルドアップトレーニングの時期です。



図3



# I. 現代の指導法「Game based approach」 / (ゲームベースアプローチ)

まずテニスの技術を習得していくのに始める適正年齢は6～7歳と言われていますが、我々は技術を指導する上で、何を指導すべきでしょうか？

以前、技術習得の目標は下記のように考えられてきました。

- ▶ 理想的なフォームの完成や完璧な技術の習得  
それをどう指導するかを考えられてきたこと
- ▶ 理想的なモデルをコピーする事による技術の習得
- ▶ ある技術(動き)を分割して教え、最後にそれを組み合わせるといもの
- ▶ 一つの型(フォーム)をマスターすれば、すべての状況に  
適応できる(試合に使える)

しかし実際は、どのチャンピオンを見てもフォームが違い、選手は様々なバランスでプレーさせられ、ひとつの型(フォーム)では対応できない、結局はアンフォースドエラーの数が勝敗を分ける事が多いなど…。現代のスポーツにおいて、この矛盾に研究が進み、「Game based approach」という実践に即したトレーニング方法が開発され、90年中盤以降その重要さが唱えられ、各スポーツにおいてその指導方法が普及してきました。

そこで我々が理解しなくてはならないのは2点

1. 技術を指導するという事は、理想的なフォームを教えるのではなく、機能を教える。
2. 技術を習得する上で、シチュエーションを変化させ、一つの技術にバリエーションとゲームでの使い方を持たせるように指導する。



図4

機能を教えるということは、無駄のない効率的な動作になる！

2003 Richard Schonborn

## II. では低年齢期にどこまでの技術の完成度を求められるのか!?

そして「Play +STAY」という子供達の成長過程に適したハードと、「Game based approach」という現代の指導法を使って、指導していくわけですが、子供たちはどの年齢で何をどこまで習得できるようになるのか?その基準を探ってみます。

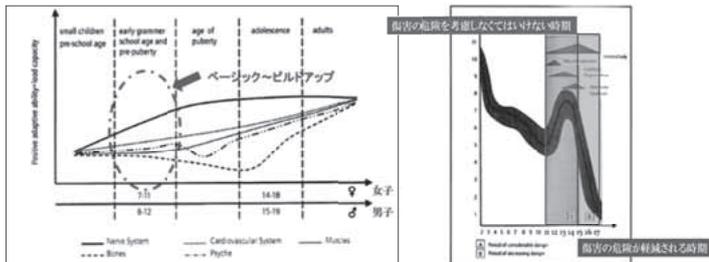


Fig. 14: Schematic representation of the development of the load capacity of the biological systems being dependent upon the biological age (from: FRÖNER 1993, 17).

図5 生物学上における生物学的なシステムの能力量の年齢的な推移

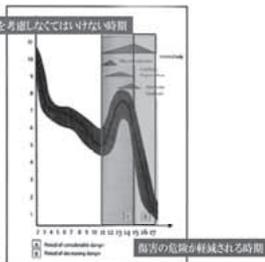


Fig. 15: Level of danger possible for a military line of capacity build-up with all the physical system with top speed. (from: Fröner 1993, 17).

図6

まず、図5,6からベーシック～ビルドアップ期の発達を分析していくと

1. 神経系 = もっとも発達する = ゴールデンエイジ
2. 筋肉量 = 4~6歳 体重の約20%  
7~10歳 体重の約23%  
10/12~13歳 体重の約25~28%  
12/13~14/15歳 体重の約30~35%  
およそ16/19歳 体重の約33~45%  
\*パワー系のトレーニングや体を筋力で加速していくような動作は難しい。
3. 骨 = 低年齢では、まだ軟骨も軟らかく圧力に耐えられないので変形を起こす危険があり、15歳を過ぎると変形の危険度が減少していく。=練習量が多すぎたりや過度な負荷をかける事(又は同じ個所に負荷)は危険

図7 ITFが推奨する練習時間

年齢	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳+
時間/週	12	16	16	20	20	22	22	25	25
週/年	45	45	45	50	50	50	50	50	50
総時間/年	540	720	720	1000	1000	1100	1100	1250	1250

次にバイオメカニクスの巨匠Dr.ブルース・エリオット (AUS) が2011年に発表したデータです。



ITF Worldwide Coaches Conference 2011

動作の成熟度の%! (Action maturity %!)

	11years old	15year old	Adult
リズム (with success)	90	95	100
バランス&フットワーク	65	90	100
バランス&ヘッドポジション	60	80	100
トランクローテーション/バックスウィング - separation angle	70	100	100
バックヒップドライブ/trunk rotation in the forward swing	40	80	100
インターナルローテーション	50	90	100
リストアクション	40	80	100
ラケットの軌道	30	80	100
リカバリー	30	80	100

図8 2011 ITFWWCC In Egypt



上記のように、年代によってストロークの動作の成熟度を研究しデータ化した物です。一番上のリズム以外は、15歳以下でほぼ成熟度が80%以上になっていきます。それだけリズム以外のファクターは、生物学的な成熟度が必要となる動きです。特にバックヒップドライブ (トランクローテーション) は、図9のようにラケットスピードと最も密接に関係しており、このバックヒップドライブが加速すれば、ラケットスピードが加速するデータ結果です。ですから12, 13歳以降、バックヒップドライブを加速させるトレーニングを積極的に行う必要がありますし、コネクショントレーニング (13~16歳期) でのテクニカル的な部分での重要な要素の一つです。話を戻しますと、低年齢においてディベロップしなくてはならない要素は、言い換えると、低年齢からプロのハイパフォーマンスに至るまで共通する点は、「リズム」という事です。それは、11歳で90%の成熟度があるというデータからも理解していただけたと思います。

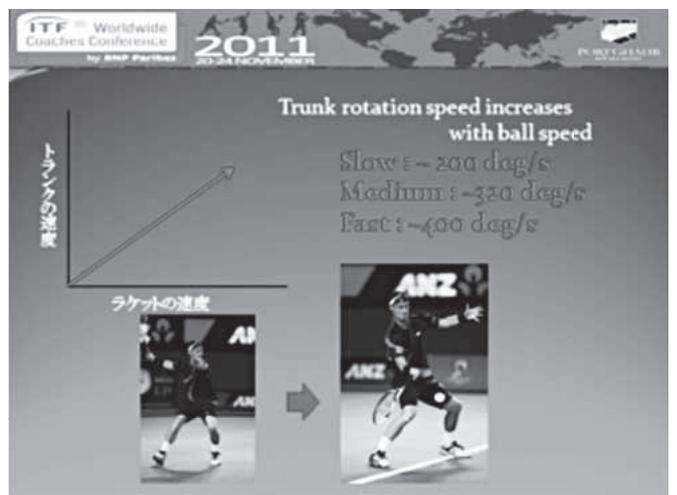


図9

# 結 論

神経系の発達するこの時期に、効率的な動作（エコノミック）を獲得させる事が大事であり、その無駄のない効率的な動作つまり、リズムをまず指導することが優先されるべきです。

その後体の成熟とともに、筋肉量も増え、骨も負荷に耐えられるようになる段階で、よりその効率的な動作を、加速させるトレーニング（パワーへの移行）に入っていく事が、理想的であると考えます。ですからスピードとパワーは、効率的な動作を獲得してからです。

そうでなくては、精度の高いパワフルなストロークの開発は難しいです。

そして最後に、**リズム** = **効率的な動作（エコノミック）**を持ったストロークとは、どの様な事をいうのか説明して、終わりにしたいと思います。

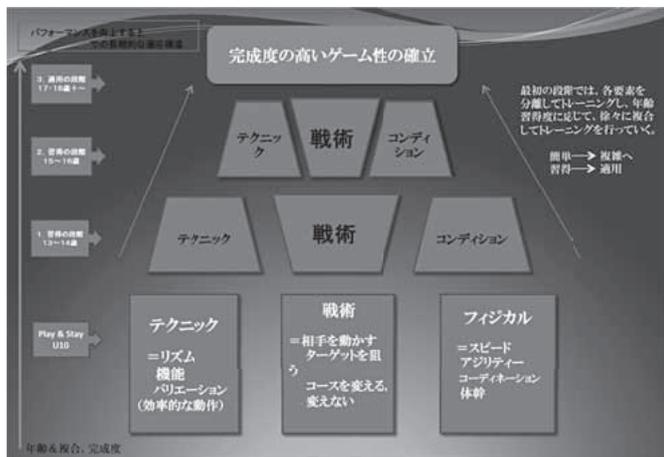


図10

上記の図は、初めはそれぞれのエリアを独立してトレーニングし、徐々にそれぞれを密接にしてトレーニングしていき、完成度の高いゲーム性を確立していくイメージを表した物です。例えば10、11歳でストロークのリズムを習得している時に、早いテンポで振り回しなどしたら、せっかく習得したリズムが無茶苦茶になってしまうのが想像できると思います。もちろんこの時期にスピードトレーニングは重要なわけですから、テクニクとは関連性のないもので、スピードを改善するトレーニングを行うべきです。

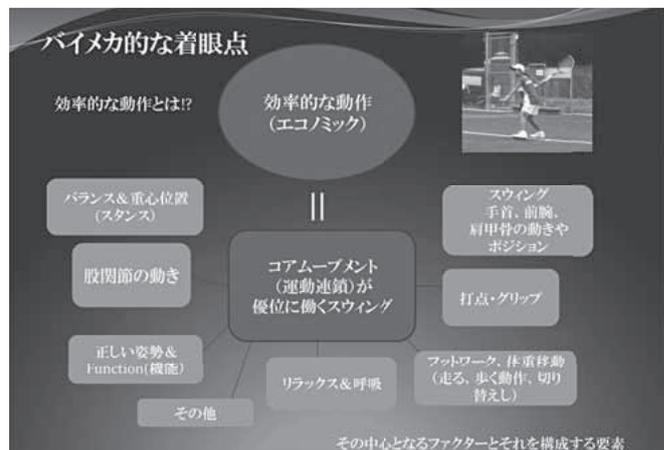
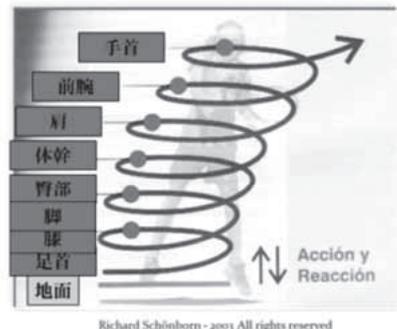


図11

図12 運動連鎖(キネテックチェーン)



この運動連鎖（ひねる動作は上から順に、そしてひねりを戻す時は下から順にという動作）を動きの軸（＝コアムーブメント）として、それにストロークに必要な要素が付随しているのが、効率的な動作である事が、図からもお分かり頂けるとおもいます。これを初期の段階（6、7歳）から、いかにシステマチックに指導していくかが重要です。

次回は、皆様に指導の手順とそのチェックポイントをご紹介したいと思います。

**参考文献・資料**

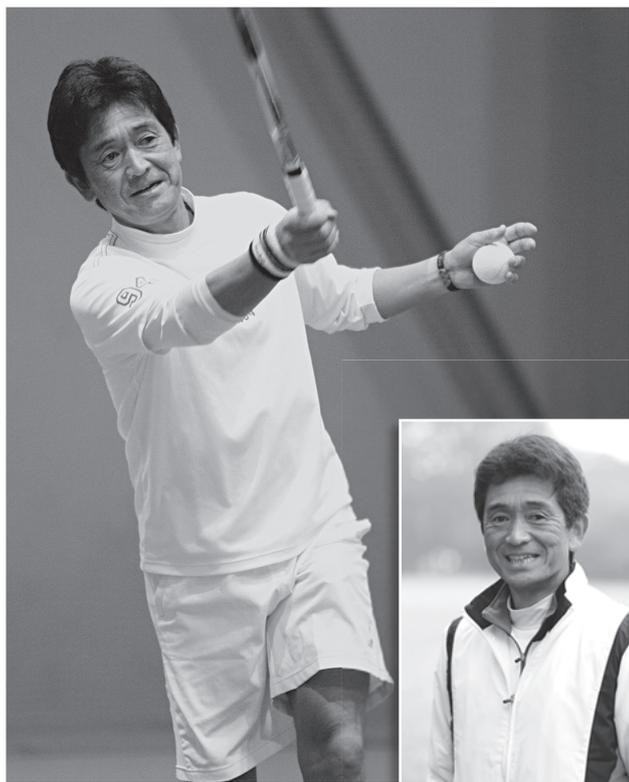
2011 ITFWGCC(ワールドワイドコーチングカンファレンス)Drブルース・エリオット  
 2003 スポーツ科学セミナー リチャード・ショーンボーン  
 Competitive tennis for young players リチャードショーンボーン、グロツサー  
 2011年 兵庫トレセン指導者講習会 (第1回～5回) 中山芳徳

【選手紹介リレー】

# ProPlayer Interview

## プロプレイヤー インタビュー

「選手紹介」コーナーでは、往年の選手から若手選手まで出来るだけ多くの選手の皆さんにインタビューをさせて頂き、プロとしての志や垣間見える素顔の部分をご紹介していきたいと思います。第5回目のページを飾るのは「福井 烈プロ」です。



### プロフィール

#### 福井 烈 (ふくい つよし)

- 生年月日：1957年6月22日
- 出身地：福岡県門司市(現北九州市門司区)
- 所属：ブリヂストンスポーツ
- 資格：日本体育協会公認スポーツ上級コーチ(マスター)

(公財)日本テニス協会常務理事

(公財)日本オリンピック委員会理事 / 選手強化本部強化育成専門委員会副委員長 / JOCゴールドプラン委員会委員長

(独)日本スポーツ振興センター ナショナルトレーニングセンター運営委員会委員

- ・デビスカップ元監督(1992-1996)・バルセロナ五輪日本代表監督
- ・アトランタ五輪ヘッドコーチ、シドニー五輪日本代表監督

#### < 主な戦績 >

- 高校ではインターハイ3連覇を含む「169連勝」という記録を達成
- 全日本テニス選手権大会シングルス優勝7回(史上最多)
- 全日本室内テニス選手権大会シングルス優勝6回
- 10年連続デビスカップ日本代表(1978年~1987年)
- 9年連続JOPランキング1位(1979年~1987年)
- 1987年・1983年・1985年日本プロテニス協会MVP
- セイコー・スーパー・テニス10年連続出場(1978年~1987年)

### 福井プロにうかがいました

#### Q01 テニスを始めたきっかけを教えてください。

7歳年上の兄がテニスをしていたのでそれについて行ったのが、テニスとの出会いです。小学校5年生の時でした。兄(雄治)は現在も全日本ベテランで活躍中です。

#### Q02 試合に臨むとき、こだわっていたことや必ずしていたことはありますか？

その時に出来る最高の準備(メンタル、コンディション、作戦等)を心掛けていました。日々の練習量を心の支えに、全力でプレーするのが信条でした。

#### Q03 憧れの選手、目標にしている(もしくはしていた)選手がいたら教えてください

ジュニア時代のおこがれは渡邊康二監督のデビスカップチームでした。神和住さん、坂井さんが選手として大活躍した時代です。憧れの神和住さんとはその後同じ契約会社となり、ダブルスも組んでいただきました。

#### Q04 今までで一番心に残っている試合はどれですか？

1つに絞るのは難しいのですが、全日本選手権で現天皇・皇后両陛下のご臨席を賜り戦った決勝で勝利した試合。また、デビスカップ対中国戦で4時間58分の最長試合を戦い抜いた試合…まだまだあります。



Q 05 今までで一番テニスで悔しい思いをしたのはいつですか？

日本代表の選手として、監督として戦い、日本を勝利に導けなかった試合すべて。

Q 06 自己分析された場合、どんなタイプのプレイヤーでしたか？

タイプでいうと「カウンターパンチャー」です。

Q 07 現役当時、コーチはどんな存在でしたか？

我々の現役当時は専属のコーチとツアーを回ることが出来る選手は世界のトップクラスのほんの一握りでした。当時はプレイヤー同志で練習しながらツアーを回っていました。現役最後の時はパートナーだった田村伸也さんに色々アドバイスをいただき、あらためて客観的視点の大切さを知りました。

Q 08 現在、コーチとはどうあるべきとお考えですか？

「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない」元サッカーフランス代表監督ロジェ・ルメール氏の言葉が私のモットーです。コーチ、指導者とは常に学び続けていかなければならないものだと考えています。

Q 09 現役プレイヤー時代を振り返ってのことやその後、またご近況の中でなど、印象深かったことをお聞かせ頂けますか？

現在は（公財）日本テニス協会常務理事として、また（公財）日本オリンピック委員会（JOC）の選手強化担当理事としての活動もしています。ロンドンオリンピックでは日本代表選手団の本部役員として参加しました。日本選手団は日本オリンピック史上最多の38個のメダル個獲得することができ、たくさんの方から温かい応援メッセージを頂き、帰国後の銀座でのパレードには50万人の方々を集まいただきました。あらためてスポーツの持っているパワー、潜在能力に驚かされた出来事でした。

Q 10 大好きな食べ物は？

55歳になった今でもお肉が大好きです。

Q 11 この世で苦手なものはありますか？

この年齢になると苦手という言い訳が通用しなくなるので…

Q 12 今、こだわっていること、マイブームはなんですか？

風景写真を撮りに行く事です。仕事柄移動が多く時間をゆったり過ごすことができないので、心を落ち着かせるためにもそのような時間を持った方が良いとアドバイス頂き、カメラ持参で写真を撮りに行くのが楽しみになりました。親交のあった故松本カメラマンの影響もあったのかもしれませんが。ただこのところ写真を撮りに行く時間が取れないのが悩みです。

Q 13 座右の銘、または好きな言葉を教えてください。

「負けてたまるか」「凡事徹底」。現役時代ラケットには「冷静と勇気」の文字を書いていました。

Q 14 福井烈プロにとって、テニスとは…？

テニスのプロフェッショナルとして、それに人生をかけてその責任を全うすること。

Q 15 プロを目指すジュニアたちに、そしてJPTA会員に一言お願いいたします。

甘い世界ではありません。死にもの狂いの人々（選手達）の中での熾烈な競争の世界です。しかし挑戦する価値が大いにある世界でもあります。覚悟を持って、自己責任で、トップを目指してもらいたいと思います。テニスの地位向上、普及という同じビジョンのもと、それぞれの方法で目標達成への情熱を持ち続けてください。



日程：2012年11月12・13日 会場：御殿山ガーデン ホテルラフォーレ東京

# 2012年度 JPTA コンベンション



## 創立40周年記念コンベンション 参加の皆様への御礼のことば

コンベンション委員会 委員長 安川裕也

この度のコンベンションは、ご臨席いただいた講師の皆様、受賞者の皆様、ご参加いただいた228名の会員の皆様のご協力により、つつがなくまた盛会のうちに終えることができました。心から御礼申し上げます。

一参加者といたしましても会場のにぎわいの中に身をゆだねながら、JPTAの歴史の中で培われた「絆」の大切さを噛みしめ、また当協会創立者である石黒修プロの矍鑠たるお姿に「生涯現役」の心意気を背中であげさせていただきました。

この度の企画に携わる機会を与えていただき、あまつさえ、



会場での熱気となごみの波動に浸ることができた時に、JPTAの人と人のつながり「絆」こそ私の「挑戦」を支える源なのだとして再認識できました。ご参加いただいた

皆様に改めまして心から御礼申し上げます。

テニス界の永久なる発展とJPTAの隆盛、会員、ご関係者皆様のご健勝とご多幸を祈念するとともに、次回コンベンションでまたお会いできますことを願って御礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。

## 基調講演

講師：IMG JAPAN代表 菊地 広哉氏

テーマ：IMGのビジネスバリューチェーンとIMG Academiesの役割

1960年、オハイオ州の若き弁護士であったマーク・マコーマック（IMG創始者）と天才ゴルファー アーノルド・パーマーとの握手から始まったIMG。

アスリートのマネジメントビジネスが、その後、どのような変化を遂げて、現代のスポーツマーケティングビジネスに発展してきたのか、IMGのビジネスチェーン構築の歴史をトレースしながら検証。また、多くの著名アスリートを輩出してきたIMG Academiesが、IMGのビジネスバリューチェーン全体の中で、果たしている役割を解説いただきました。

質疑応答では、日本のテニス業界、日本のスポーツ業界についての質問が主にあがり、有名選手の裏話などにもご回答くださいました。



### IMGのビジネスバリューチェーンとIMG Academiesの役割（まとめ）

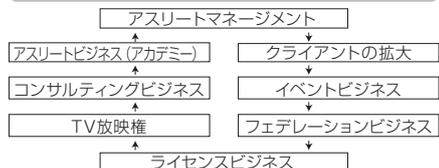
高橋 真人

#### ＜ IMGの主な事業展開 ＞

- スポンサーシップとエンドースメント
- スポーツプロパティ管理
- ライセンス
- コンサルティング
- メディア制作
- メディアディストリビューション
- イベントマネジメント
- ホスピタリティ

#### 1) スポーツが人々の生活に果たす役割

#### 2) ビジネスバリューチェーン



#### 3) 柔軟なプラットフォームの提供

#### 4) IMGメディア ブランドとオーディエンスの結びつけ

#### 5) IMGのライセンスによるブランド価値の向上

- ・スポーツビジネス、カルチャーブランド含め約50企業以上と契約
- ・アメリカの一流大学（カレッジスポーツ）からパートナーに選ばれている

#### 6) IMGカレッジが提供するプラットフォーム

#### 7) ファッション界での影響力：モデル・イベントのマネージメント

#### 8) IMGコンサルティング ブランドとオーディエンスの結びつけ

#### 9) 活動事例

#### 10) マネージメントアスリート/モデルの紹介

- ・世界各地で開かれているトップイベントへの協力
- ・世界的に知られたグローバルコンテンツの結びつけ
- ・ATP・WTAテニス、サッカー、ゴルフ、モータースポーツの最新情報

### IMG Academiesについて

IMG Academiesは「才能ある若い選手がお互いに切磋琢磨をし、アスリートとしての可能性を最大限発揮できる環境の創造」を目的としてテニスのアカデミーとして開設。

現在は、さらなる変革を目指して、施設の充実、パフォーマンスイベント、イグナイト（アスリートの身体測定のプログラム提供）、キャリアプラン（メンタルトレーニング）などに力をいれている。

#### ＜トータルマネージメントプログラムのポイント＞

- ・身体能力・動作改善
- ・フィジカルコンディショニング
- ・視覚トレーニング
- ・栄養学
- ・メンタルトレーニング
- ・ライフスキル
- ・コミュニケーション
- ・カレッジ

トータルマネージメントを行い、現在135人以上の世界的アスリートを輩出。多くのタイトルを得ている。

IMGは、7種類のスポーツアカデミー

- ①テニス ②野球 ③ラグロス ④アメリカンフットボール
- ⑤バスケットボール ⑥サッカー ⑦パフォーマンストレーニングを現在確立させている。

# 記念セミナー

講師：VIP・TOPグループゼネラルマネージャー  
中嶋 康博氏

テーマ：この厳しい時代、コーチとして生き抜くためには！

～お金をかけずに、定着率、新規獲得をアップさせる方法～

JPTAとの繋がりからティーチングとコーチングの違いなど、3つのテーマを中心に日本のプロコーチ、テニスクラブ&スクール活性化のための指導法、運営法の実例を用いてお話しいただきました。



## Ⅰ：プロコーチは

- 1- テニス業界の現状
- 2- 与えられた条件
- 3- 準備・段取り
- 4- コーチのイメージ
- 5- 名前を覚える
- 6- 走れ！汗をかけ！声を出せ！
- 7- 三つの責任
- 8- 想い
- 9- いくつまで出来るの
- 10- 学ぶことを忘れたら

## Ⅱ：継続を高めるには

- 1- 仲間づくり
- 2- 古い人、新しい人
- 3- 1回目のレッスン
- 4- 満足・感動・感謝
- 5- 問心表
- 6- ふれあいタイム
- 7- 実レッスンシート
- 8- 日本一美容室は
- 9- チーム力
- 10- 発表会

## Ⅲ：新規獲得するには

- 1- おいしいお店は
- 2- 口コミ
- 3- 話題作り
- 4- ポスター・チラシ
- 5- ホームページ
- 6- テニスの魅力
- 7- 提携店
- 8- 地域の有名人
- 9- 人の集まる場所
- 10- 社会貢献



# 安全管理講習会

講師：有限会社リックスコミュニケーションズ 代表取締役社長  
荒井 永氏

テーマ：テニスクールの安全のために

『まさか！レッスン中の事故で、1億3000万円の損害賠償請求!?!』『熱中症・AED、あなたのスクールの対策は万全!?!』

JPTAが我が国で初めてのテニスクール専用の保険制度である『テニスクール制度』を発足させてから20年以上が経過しました。その間、JPTAはテニスクールの安全管理の向上について力を尽くしてまいりましたが、残念ながらテニスクールにおける事故が目に見えて減少したとはいえません。そればかりか、今日的な「インドアならではの事故」や「Jrや高齢者の事故」などは増える傾向にあります。

レッスン中の事故に関する「基本的な法律知識」「事故に対する備え」「適切な事故対応」「事故例と対策」などを解りやすく講義するのが『安全管理講習会』です。また、今回からは会員の皆様のご要望に応え、新たなテーマとして「熱中症」「AED」がテキストに加わり充実した内容をご講演いただきました。

## JPTAコンベンション2012に参加させていただいて感じた事

TOPインドアステージ 亀戸  
深谷 典央

会員の皆様、お疲れ様です。11月12日(月)・13日(火)に行われましたJPTAコンベンション2012にて感じた事を記させていただきます。

今回2日間ある日程の両日に参加し、色々な事を学びました。錦織プロをサポートする上でのIMGジャパンの裏話や、テニスクールを運営していく上でのポイント、最新テニス技術、安全管理など、新鮮な話ばかりでした。今回の講演全てが、私の今後の活動にプラスになる事は間違いないのですが、1番心に刺さった事を記させていただきます。それは、佐藤理事長の挨拶の中にあつた言葉でした。第35代アメリカ合衆国大統領ジョン・Fケネディの言葉をJPTAに例えて「プロテニス協会が皆さんに何が出来るかではなく、皆さんがプロテニス協会に何が出来るのかを考えていただきたい。もちろん、理事長である私は、誰よりも考え日本のテニス界が発展するよう努力して参ります。」との話でした。プロテニス協

会に入会して早20年弱、一生懸命レッスンはしてきたつもりですが、協会やテニス界の為に何が出来たのだろうかと考えてしまいました。改めてしっかりと考えてみると、出来る事が、色々あるように思います。逆にテニスクールでコーチをしている者にしか出来ない事も沢山あるように思います。今回のコンベンションで気がつかせていただいた事に来年は、しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。

最後にとてもうれしかった事を1つ書かせていただきます。11月12日は、自分の誕生日だったのですが、お恥ずかしい話、自分でも誕生日を忘れていてコンベンションの受付をしたら事務局の方に「誕生日おめでとうございませす」と声をかけていただきました。この年になって誕生日でこんなにうれしくなった記憶がありませんでした。事務局の皆様、お心遣い有難うございました。

# オンコートセミナー

講師：谷澤 英彦 プロ

## プレイヤーレベルにあるジュニアに対する「技術の幅」を広げる指導・練習法

コーディネーター  
ライス・コミュニケーションズ株式会社  
米田 良佑

### 【概要】

守屋宏紀プロをはじめ、現在、国内外で活躍する多くの選手達を育成サポートしている谷澤英彦プロが、選手自身がジュニアからプロへ向かう成長期に行う練習法のひとつとして、下記のポイントを中心にオンコートセミナーが行われました。

- ①どのようにすれば各選手の持っている「技術」の幅（伸びしろ）が広がるのか？
- ②世界の選手と互角に渡り合うには、どんな「技術」を身につけることが有効なのか？
- ③さらに勝つためにどのような「練習法」が効果的なのか？

### 【デモンストレーション】

- ①技術（テクニック）では、あまりジュニア期には習得させない「ドロップショット」
- ②正確性に欠けがちな「チャンスボール」
- ③ゲームでは確実に求められる「カウンターショット」

上記の打ち方をプロ本人の正確なデモンストレーションで見せていただいたことで「納得度」が上がりました。その練習法では、実際に会員が体験することで、選手が取り組んでいる「難易度」が伝わりました。テーマ解説時には、関わってきた現役選手の実例や海外遠征などから見聞を広めてきた指導ノウハウを詳しい解説と交えていただいたことで参加者の「理解度」があがっていたように感じました。今セミナーを通じ、選手・ジュニアそれぞれの身体・性格などの個人特性を見極め、如何に高い目標がクリアできる技術を効率よく身に付けさせ、常に緊張感を持たせながら練習に取り組ませる事が出来るか、という「重要度」が参加して下さった会員の皆さんに伝わったのではないのでしょうか。



### 【内容】

- ◆「ドロップショット」の使い方
  1. 打ち方と種類（フォア・バック・回り込み）
  2. 強打とドロップショットのコンビネーション
- ◆「チャンスボール」の打ち方
  1. テンポを速く、打点を上げる、ポジションに入る
  2. 弾むボールに対する対応の正確性
- ◆「カウンターショット」の打ち方
  1. コンパクトなスイングとインパクトの正確性（フットワーク）
  2. コンパクトなスイングとインパクトの正確性（リズムの変更）
- ◆「チャンスボールからのボレー」
  1. アプローチ・ショットからボレーにこだわらない
  2. 強打（コントロール・ショット）からフィニッシュのボレー
- ◆練習法（応用ドリル）
- ◆Q&A



2011年度 公益社団法人日本プロテニス協会

# 協会賞 受賞者

JPTAでは、毎年「協会賞」として協会の活動のみならず、日本テニス界の発展に貢献された方々を表彰し、各賞をお贈りしています。

会員の代表として各地区の地区長・幹事の皆様と理事より募りました候補者を、選考委員会にて検討し、選出後、理事会の承認を経て決定されます。

本年度も授賞式はコンベンションパーティーにて実施いたしました。



PLAYER OF THE YEAR賞	錦織 圭 選手
COACH OF THE YEAR賞	竹内 映二 氏
優秀コーチ賞	柏井 正樹 氏
BEST MANEGEMENT賞	亀山 孝雄 氏
協力賞	林 浩司 氏
	八島 正幸 氏
特別賞	内田 龍之 氏
	北日本物産 相談役 竹田 肇 氏
功労賞	渡辺 功 氏
JPTA40周年記念理事長賞	大神 義明 氏

## 【永年会員】

10年…22名 15年…32名 20年…46名 30年…65名 35年…7名

おめでとうございます

## 錦織選手よりメッセージ

錦織選手から授賞のメッセージをビデオレターでいただきました。会場の皆様がビデオメッセージに注目し会場が静まり返りました。



こんにちは。錦織 圭です。

今回、日本プロテニス協会の皆様に『PLAYER OF THE YEAR』賞に選んでいただいたと聞いて大変光栄です。

昨年、今年と自分でも驚く程の結果を残すことが出来ましたが、今後更に、日本のテニス界に夢を与えられるよう、TOP10を目指して頑張りたいと思います。

僕もジュニア時代にニュージェネレーションスカウトキャラバンの地区予選会に参加しました。これからも一人でも多くのプロテニスプレイヤーが日本から生まれるよう日本のジュニアテニスを応援してください。僕も協力します。

ありがとうございました。

## 2012コンベンション表彰へのお礼

2011年度 協力賞受賞 八島 正幸

皆様お変わりありませんか!!張り切っていらしゃいますか?研究していますか?悩んで行き詰ってますか?夢や目標はちゃんと維持しておられますか?

さて私、八島正幸はプロテニス協会発足40周年という節目の時に栄えある協力賞を頂きました。まずは私を使って頂きました小野元委員長、土井さん、余語さん、吉田さん、白戸さん、そして富岡専務理事、有難うございました。また、ご多忙の中、尽力されました佐藤直子理事長をはじめ各理事、スタッフの方々、有難うございました。

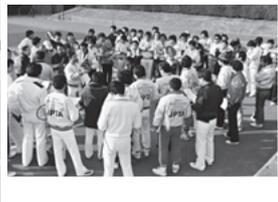
皆様、真面目にコツコツと、テニス界の為、次世代の為に頑張っていれば『VIP待遇』を味わえますよ!!私は今回、優雅なラフォーレに宿泊のご招待を頂いてびっくりし、感激しました。

またパーティーでは、我々の憧れの石黒修プロ、日本テニス界の紳士・渡邊康二さんらと同じセッティングのスペースを与えて頂きました。隣席は元デ杯監督・竹内映二さん、錦織圭のスタートコーチ・柏井プロ等々でした。表彰式では立派な記念になる、格好いい「楯」と「賞状」を頂きました。

実は私事ですが、講習会やブラッシュアップの会場として使っていた、神戸にあります「みのたにグリーンスポーツホテル」が閉館し、ここ数ヶ月、人生最大のピンチでした。しかし、プロ協の諸先輩方・友人より応援して頂き、何とか食いつないでおります。助かりました。まさに中嶋康博大先輩のお話の「ありがとう」「ありがとうございます」でした。

人生真面目にやっておれば何とかありますね!!ただ甘えはいけませんし、シングルスで戦う孤独と一緒にですね。前を向いて生徒さんと向き合っ、オンコートでテニスの文化をしっかりと紹介できるように頑張っています。

皆様、色々なことが今後あると思います。特に若い人達には、「良い時におごらず」「悪い時にめげずに」「一步一步しっかりやっていけば」今回のような良い日が来るかもしれません!!とお伝えしたいです。「本当に私を使って頂き有難うございました!」と言える日が…。佐藤理事長の冒頭の言葉「協会が何をしてくれるかではなく、協会の為に何が出来るのか?」を胸に、皆様、頑張りましょう。そして、来年のコンベンションではもっと多くの仲間にお会いしたいものです。



1983



1984



1982



1987



1986



1985

1988



1989



1992



1998



1994



1993

1999



2006



2010



2011

2004



## 平成25年・26年度 役員候補者選挙に関するご案内

### ■ 選挙のスケジュール

立候補届受付締切 **平成25年1月28日(月)午後6時00分必着**

選挙の告示(立候補者名簿兼投票用紙の配布) ▶ **2月18日(月)**

投票の締切

▶ **3月19日(火)(当日消印有効)**

開票・集計・確定

3月25日(月)

推薦候補者の選考～全候補者決定

3月下旬(協会会員ホームページに告知)

総会にて承認

6月下旬予定

上記のスケジュールにて平成25・26年度の協会役員が選ばれます。

**1月28日(月)午後6時00分(必着)に立候補届の受付が締切られました。**

尚、ご案内は「役員候補者選任規程」に基づき、選挙権・被選挙権(シニア会員の方は投票権のみ)のある**当該年度の年会費を完納されている正会員の皆様**に送付致しました。

※規程では投票日90日前現在(今回は12月19日時点)において年会費を完納されている事が、選挙権・被選挙権が与えられる要件となっております。同日までに年会費が未納の方には今回の選挙に関する資料をお送りしていませんので、予めご了承ください。

**ご注意**

・②の**立候補届書類の提出をもって立候補が正式に受理されます。**

お電話(書類請求)だけでは立候補受付とはなりませんのでご注意ください。

・**立候補者名簿は書類が受理された届出順になります。**予めご了承ください。

#### 4.役員候補者選任規程

(目的)

第1条 この規程は、定款第21条の(1)理事の候補者を選任する事項について定める。

(選挙の管理)

第2条 理事候補者を選任する選挙に関する庶務事項を管理するため、選挙管理委員会を設置する。

(選挙管理委員会)

第3条 選挙管理委員会は3名で構成され、理事長が正会員の中から理事会の承認を得て任命する。

2.選挙管理委員会は理事長の指名により、1名委員長を定める。

(選挙の方法)

第4条 選挙は全国を一選挙区として連記無記名投票により行われ、選出される定数は12とする。

(選挙権)

第5条 選挙権は投票日の90日前現在の在籍者で、当該年度の年会費を完納した正会員に与えられる。

(被選挙権)

第6条 被選挙権は投票日の90日前現在の在籍者で、当該年度の年会費を完納し、且つ選挙管理委員会に立候補届を提出し、期間内に受理された正会員(シニア会員除く)に与えられる。

2.前項の規定にかかわらず、以下の事由のいずれかに該当する者は、被選挙権を有しない。

①公益法人が公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)(以下「認定法」という。)第29条第1項又は第2項の規定により公益認定を取り消された場合において、その取消の原因となった事実があった日以前1年以内に当該公益法人の業務を行う理事であった者でその取消の日から5年を経過しないもの

②次の事由により、罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくな

った日から5年を経過しない者

(1)認定法の規定に違反したこと

(2)一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号)の規定に違反したこと

(3)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)の規定(同法第32条の2第7項の規定を除く。)に違反したこと

(4)刑法(明治40年法律第45号)第204条、第206条、第208条、第208条の3第1項、第222条又は第247条の罪を犯したこと  
公益社団法人日本プロテニス協会 2011 年版規程-04

(5)暴力行為等処罰に関する法律(大正15年法律第60号)第1条、第2条又は第3条の罪を犯したこと

(6)国税又は地方税に関する法律中偽りその他不正の行為により国税又は地方税を免れ、納付せず、若しくはこれらの税の還付を受け、若しくはこれらの違反行為をしようとする事

③禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は刑の執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者

④暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員(以下単に「暴力団員」という。)又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者

3.理事に立候補するためには、1年度内の理事会に3分の2以上、出席できる見通しがなければならぬ。

(投票)

第7条 投票は郵便投票によって行われる。告知期

間は30日とし、投票日の締切は理事選挙が行われる年度内の理事会において、選挙ごとに決定する。

(開票集計及び確定)

第8条 投票締切日付消印のあるものを有効とし、選挙管理委員会は監事立会いのもとに開票集計を行い、得票数上位者12名を当選者と確定する。但し、投票数が同じ場合は入会日の早いものを上位者とする。

(繰り上げ当選)

第9条 投票日より一年以内に選挙によって選ばれた12名に欠員が生じた場合は、得票数13番目以下の候補者を順次繰り上げ当選とする。

(通知)

第10条 確定した当選者には直ちに通知がなされ、会員には本協会会員ウェブサイトによって告知される。

(推薦枠)

第11条 会長・副会長・理事長はそれぞれ1名(計3名)の推薦枠を有する。常務理事会は5名以内の推薦枠を有する。

(役員候補者の認定)

第12条 選挙により選出された12名に前条推薦枠による候補者を加えて役員候補者名簿を確定する。

(適用)

第13条 この規程は、平成7年度の役員選任時より適用される。

(改廃)

第14条 この規定の改廃は、理事会の決議により行う。

公益社団法人日本プロテニス協会 2011 年版 規程-04

公益社団法人日本プロテニス協会

## ロゴマーク変更のお知らせ

### オフィシャルホームページリニューアルのご案内

公益社団法人日本プロテニス協会（事務局所在地：東京都品川区 理事長：佐藤直子）は、協会ロゴマークのデザインを変更し、2013年4月1日（月）より順次、新しいロゴマークの使用を開始いたします。また、ロゴマーク変更に伴い、同日オフィシャルホームページをリニューアルいたします。

従来ロゴマーク



新ロゴマーク



※JPTAロゴマークの無断使用・転用は固くお断りします。

#### [ ロゴコンセプト ]

日本プロテニス協会は、下記の理念に基づき、日本を中心に世界でも活躍しているプロフェッショナルコーチとプレーヤーの集団です。『無限に広がる世界への可能性』をコンセプトにテニスボールと地球のINFINITY（無限大）マークで表現しました。

#### 協会名：公益社団法人日本プロテニス協会

URL：<http://www.jpta.or.jp>

事務局所在地：〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー1階

代表者：理事長 佐藤直子

#### [ 理 念 ]

当協会は、日本テニス界唯一のプロフェッショナルコーチの為の協会であり、テニスのプロ指導者及び一般指導者の養成・認定と技術・指導方法に関する研修及び指導を行い、プロテニスプレーヤー、ジュニア及び一般愛好家の育成・普及を図り、テニス教育を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、未来ある社会の推進に貢献することを目指して活動をしております。

今後はこれまでの活動をさらに活性化し、社会にむけてより大きな成果を提供できることを目指して活動を進めてまいります。

### 会員サービス委員会より商品についてのご案内

ご案内の通り、2013年4月1日より新ロゴマークの使用を開始いたします。会員サービス委員会にて販売しております、のぼり旗・名刺につきましては、3月31日までにご注文いただいたものは、旧ロゴマークの販売となります。

また、オフィシャルボールにつきましても、制作の関係上3月末までのお申し込み分（7月上旬発送分）は旧ロゴマークとなりますのでご了承ください。

詳細は27ページまたはホームページをご覧ください。

### ホームページリニューアルについて

新しいロゴマークと共に協会ホームページも4月1日よりリニューアルいたします。

情報更新・新規掲載をご希望される会員様は同封いたしますホームページリニューアルについてのご案内を必ずご確認くださいませますようお願い致します。

是非、この機会をご利用ください。皆様からのご連絡お待ちしております。



# JPTA能登国際女子オープンテニス2012開催報告

大会実行委員長 佐藤 直子



JPTA能登国際女子オープンテニス2012はテニスの町能登町と石川県、そして北陸のテニスを楽しむすべての皆様のご協力のもと、無事に終了いたしました。

シングルス・ダブルス共に日本人初優勝となった大会でした。

シングルスは、予選から勝ち上がった伊藤和沙選手と、昨年の準優勝者である江口実沙選手との決勝となりました。地元でも人気のこの選手達の対戦は、多くの観戦者を集め、伊藤和沙選手が勝ち、初の日本人チャンピオンとなりました。

ダブルスは若手とベテラン選手がしのぎをけずり飯島久美子・米村明子組が優勝しました。

今年の能登国際では、大会前に会場である藤波運動公園でJPTAジュニアサマーキャンプの実施やダブルス決勝日には「中牟田杯U-15全国選抜ジュニアテニス石川県大会」を並行して開催いたしました。ユーストリームによる試合中継をし

て3000件を超えるアクセスを得るなど、現地に来ることが出来なかったファンの皆様にも能登国際の試合を生で見て頂くこともできました。

そして、私が一番嬉しかったのは、JPTA事務局員を始め大会運営について沢山のお褒めの言葉を頂いたことでした。

これからも、能登国際だけでなく、JPTAのトーナメント運営能力を大いにアピールすることが、JPTAの存在感を増す原動力となると感じています。

JPTAが国際大会を運営することは、素晴らしいと思います。選手や観客の皆様と触れ合う貴重な経験です。会員の皆様にも、このJPTA能登国際女子オープンテニスを一緒に応援する気持ちを持って頂ければ幸いです。JPTAプレーヤー会員でもある榎木大会ディレクターと共にJPTAとしてもこの大会を大切に育てていきたいと思ひます。

最後になりましたが、ご協力頂いた沢山の皆様に心を込めて御礼申し上げます。



## 『安全管理講習会』 年に一度は必須受講科目としましょう!

安全管理委員会  
委員長 富岡 信也

平成24年度JPTAコンベンションでの最終プログラムにも関わらず、『安全管理講習会』には100名を超える会員の皆様で会場は満席となり、その関心の高さを伺わせました。

講習会のテーマは、【テニススクールの安全のために】です。事故対応のエキスパート・(有)リックコミュニケーションズ代表取締役社長 荒井永氏を講師に迎え、「まさか!レッスン中の事故で1億3千万円の損害賠償請求!」や「熱中症・AED、あなたのスクールの対策は万全!」といった安全管理に関する基礎知識と、テニススクールが直面する新たな課題について、

分かりやすくお話いただいております。

本年度はテキストも改訂し、名古屋、熊本、東京にて開催。年明け後は、大阪、徳島と続いていく予定です。さらに平成25年度は全国各地での開催に加えて、各スクール事業所単位での開催も可能となりました。

日頃の「安全管理」について見直し、より一層「安心」「安全」なテニススクールとなるために、今後もテニスに携わる多くの方々にご参加頂きたいと考えております。尚、開催ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。



## 第6回 ワークショップ報告

ワークショップ委員会  
副委員長 余語 敏彦

埼玉県から参加された男性は、冬場はスキーのインストラクター、今後夏場はテニスのレッスンを予定しており参加されたとのことでした。その他、3人の男性はいずれも会社員で、ボランティアやアルバイトでコーチをしており、勉強の為に参加されました。

また紅一点の女性は高校3年生で、卒業後はテニスコーチとして就職される予定とのこと、プロテニス協会の歴史・組織等、一生懸命メモを取られていました。

また、オンコートではサーブ、ストローク、ボレーの段階的

開催日：7月16日(月)  
会場：ロングウッド森林(愛知県名古屋市)  
参加者：5名(一般4名)

指導法を講師からしっかり学んでいました。そして、参加者の一人の男性が、Fボレーで上手くコントロールできなくて困っているとの質問があり、実際に講師がレッスンすると上手く出来るようになり、さすがプロコーチと皆様、感心していました。

今回、参加者は少なかったですが、ワークショップ本来の姿という感じがしました。また、ワークショップは大都市よりも地方での開催が大切ではないでしょうか?

# ジュニア育成委員会 育成強化プログラム

育成・普及事業部  
副部長 山本 育史

## サマーキャンプ 報告



日 程：平成24年8月20日～8月23日  
 場 所：藤波運動公園（石川県・能登町）  
 参加コーチ：田村ヘッドコーチ、山本チーフコーチ、渡辺功コーチ、渡辺力コーチ  
 太田コーチ、藤沼コーチ、辻野コーチ、吉田友佳コーチ、山崎コーチ  
 吉田真幸コーチ、三井コーチ、南コーチ  
 参加人数：57名  
 合宿テーマ：基本の再構築でレベルアップしよう。

非常に天候に恵まれた4日間となりました。暑過ぎる中で極端に体調も崩さないで選手達は頑張ったと思います。前半の2日間は吉田友佳プロが積極的に選手とコミュニケーションとヒティングをしていただきました。どれだけ選手達の心に響いたかは分かりませんが、きっと何か一つでも身につけてくれたと信じています。同じように田村ヘッドコーチをはじめコーチングスタッフの熱い思いは通じたことと思います。

の中で継続し続けることが何十倍も重要で大切です。最後に非常に暑い中、熱心に指導していただきましたスタッフの皆さん、ご父兄の皆様、本当にありがとうございました。

テーマとして挙げた“基本の再構築”はストロークに関しては良い内容、選手達の理解度もあり満足の得られる形となりました。最終日のマッチ練では要所要所でその成果をだして

いる選手が見受けられたことは本当に嬉しく感じました。

この4日間で感じたこと、ひらめいたことは個々に見つかった事と思いますが、それを日常



## オータムキャンプ 報告



日 程：平成24年11月16日～11月18日  
 場 所：フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎県・宮崎市）  
 参加コーチ：田村ヘッドコーチ、山本チーフコーチ、吉田友佳コーチ、藤沼コーチ  
 三井コーチ、葛城コーチ  
 参加人数：28名  
 合宿テーマ：限界を超えてみる。

秋のキャンプを初めて宮崎シーガイアで行いしましたが、宿泊、テニス会場、食事、周辺エリアの環境すべてにおいて完璧でした。また11月の後半にしてはとても暖かく、半そで短パンでできるのは怪我の予防、パフォーマンスの向上につながる上においても最高の環境だったと思います。来年成長した子供たちに会えることを楽しみにしています。



本年度よりジュニアスカウトキャラバン地区大会は体力審査のみとなりました。  
 審査項目：バランス、柔軟、立ち幅跳び・ボール投げ・反復横跳び、25m走、スパイダー

## ニュージェネレーションテニス 全国大会開催のご案内

ニュージェネレーション・スカウトキャラバンテニスとは ▶ JPTAが全国展開で行うジュニア発掘キャラバンの名称です。

この全国大会は、全国のJPTA会員が開催する小学生なら誰でも参加可能な地区大会において地区代表として選ばれた子供達が出場する大会です。  
 本大会で優秀な成績を収めた4名の最優秀ジュニア選手には1年間のスカラシップを授与し、ジュニア育成のプロジェクチームによって行われる育成サポートプログラムを用意しています。1年間を経て、将来性が期待されるメンバーにはさらに引き続き制度が適用されます。

- 第1回 JPTA グリーンボールテニス(U10)
- 第3回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT(U13)(U15)
- 第15回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン

日 程：2013年2月22日～2月24日  
 会 場：北九州市 三萩野庭球場、桃園庭球場、穴生ドーム

# JPTA スカラシップ システム

- 一年間の育成プログラムおよびメーカーサポートプログラムを授与しています。
- その他、優秀該当者数名にも育成プログラム参加資格、およびメーカーサポートプログラムを授与しています。

## ジュニア育成プログラム

JPTAプロコーチによる一年間の総合指導を無償で受講できます。

- テクニカルコーチング ●フィジカルコーチング ●メンタルトレーニング ●栄養管理・指導等

## スタッフ

ジュニア育成プロジェクトチーム

- コーチングスタッフ；田村伸也プロ、山本育史プロ、辻野隆三プロ、吉田友佳プロ 他
- ジュニアプロコーチスタッフ

## 海外遠征

海外ツアー遠征派遣

- 高学年の部の最優秀者
- トーナメントU13、U15優勝者

## メーカーサポートプログラム

JPTAスカラシップシステムとテニスメーカーによるサポートタイアップ。

将来のスタープレーヤーを目指すジュニアたちへより良いテニス環境を提供いただいております。

- プリンス ●ヨネックス
- ブリヂストンスポーツ ●ゴーセン

## JPTA ジュニア育成プログラム

公益社団法人日本プロテニス協会では、ニュージェネレーションテニス全国大会において優秀な成績を収めた選手の為に、一年間の育成サポートプログラムを用意しています。

春、夏、秋に開催する強化合宿、エリア別の特別レッスンなどテーマを決めてプロコーチによる密度の高いレッスンが受講できます。また、夜には講義時間を設け、技術面だけでなくメンタル面でのサポートにも役立つ情報を提供しています。

### 2012年度育成プログラム内容のご報告

時 期	テ ー マ	内 容
<b>第1回育成・強化プログラム</b> (スプリングキャンプ) 2012年6月1日～3日	コントロール・スピード・回転・ 高さ・ポジショニングの意識	*球出し練習 *トレーニング *講義(寺地プロ) *テーマを意識したラリー練習 *ストロークを中心としたポイント練習 *サービス練習 *練習マッチ
<b>第2回育成・強化プログラム</b> (サマーキャンプ) 2012年8月20日～23日	基本の再構築でレベルアップ	*ショートテニス(ラリー・ボレー)細かいテクニックの確認 *ウォーミングアップロングラリー *球出しドリル *サービス&リターン *講義(吉田プロ・山本プロ) *ストローク&ネットプレイを取り入れてのポイント練習 *サービス&リターン
<b>第3回育成・強化プログラム</b> (オータムキャンプ) 2012年11月16日～18日	フォームポジションを意識して自分 自身が目指す最高の準備をし、限 界を超えてみる。	*球出しによる基礎ドリル *ボレーとアタックショットのスパインドリル *サービスとリターン *講義(田村プロ・山本プロ・吉田プロ) *体幹トレーニング
<b>エリア育成・強化プログラム</b>	担当コーチが各エリアにてレッスン	北海道地区・東北地区・北信越地区・関東地区・ 東海地区・中国/四国地区・関西地区・九州地区

JPTA会員人物紹介



会員人物紹介では理事、地区長、幹事の皆様からの情報を基に、各地区で活躍している会員をピックアップし紹介します。

今回、九州から2名の会員を紹介します。1人目は福岡県北九州市の天野会員です。北九州市小倉北区の『グリーンヒルズインドアテニススクール』に勤務する好青年です。グリーンヒルズインドアテニススクールでは、温厚な人柄や真摯な仕事ぶりで大変評判が良いと聞いております。また天野君とは、地元北九州市のテニス活性化を目的とする「北九州テニスコーチ会」でも活動しており、イベントの企画運営等において重責を担っています。仕事に実直に取り組む姿勢や、物事を大局で見て判断出来る天野君は、テニスコーチとして有能かつ貴重な存在と感じております（KWSTC支配人談）。

2人目は沖縄の源河会員です。福岡から沖縄に戻りテニスクラブを新設、コーチ兼経営者として頑張っています。まじめでユーモアあふれ、笑い声のたえないコーチと評判です。また、JPTAジュニア委員・沖縄県テニス協会ジュニア委員としても活躍中です。

九州地区地区長 石津 吏



天野 公裕会員

みなさん、はじめまして。福岡県北九州市にあるグリーンヒルズインドアテニススクールの天野公裕です。

私のスクールは、インドアコート3面で、朝から夜まで活気のあるスクールです。テニスの普及を目指しているスクールなので、特にテニス初心者をお大歓迎しています。

コーチ歴は5年目で、スクールでは初心者クラスからジュニアクラス、中上級クラスまで様々なクラスを担当しています。初心者クラスでは、JPTAの初心者指導法を基に工夫して飽きさせないレッスンをしています。初級者クラス以外は、そのレベルにあった内容で、且つ、「今日もレッスンにきてよかったな」「楽しかったな」と思えるレッスンを心がけています。まだ、良いレッスンには程遠いので、これからもより良いレッスンになるように頑張っ

ていきたいと思っています。

日本プロテニス協会の会員になることで、色々な方と出会うきっかけとなり、そしてその方々の話を聞き、学んで、それが自分の力になると思います。自分の力にするきっかけをいただいているので、積極的にイベントに参加し、自分の力にしていこうと思います。

日本プロテニス協会の会員になってまだ短いですが、テニスの普及に少しでもお役にたてたらいいなと思っていますので、これからもよろしくお願ひします。

<プロフィール>

- ①テニス歴 10年
- ②コーチ歴 5年
- ③ライセンス JPTA/USPTA プロフェッショナル3
- ④趣味 ダーツ
- ⑤レッスンのモットー いつも楽しくレッスン!
- ⑥好きな言葉 ポジティブ思考!



源河 朝哉会員

会員の皆様、また関係者の皆様はじめまして、沖縄県でGenテニススクールを経営しています源河朝哉（ゲンカアサヤ）と申します。

紹介して下さった地区長とは私が大学時代の学生と監督という間柄です。学生の頃は私が何かある事に調子に乗って悪ふざけをしていたので、毎回のようにお叱りを受けていた記憶があります（汗）最初にテニスコーチ（アルバイト）という経験をさせていただいたのも監督の当時経営されていたテニススクールでした。

初めは何をやっているのかわからない私を見て監督は「ゲンの好きなようにやってみなさい、何かあれば俺がいるから大丈夫。」と一声かけてくださり緊張していた気持ちがスッと楽になり、レッスンを楽しみながらできたことが今、私がコーチ業をしていることに繋がっていると思います。

私がテニスを始めたのが中学1年の終わりの頃でした。それまでは小学校から続けていた野球と剣道、バスケットボールを毎日交互に、部活で練習をしていたのですが、なかなか部を決めることが出来ずに悩んでいた時に友人に声をかけられテニスの楽しさにどっぷりハマってしまいました。それからですとテニス歴は21年、コーチ歴は本格的に仕事として始めたのが22歳なので12年になります。

現在、沖縄県では日本プロテニス協会会員は6名しかおらずそのうち2名は石垣島で活動しており、残り2名は失礼ながらまだお会いしたことがありません。私ともう一人の会員とでジュニア委員会のNGT沖縄地区大会やJrトーナメントを運営しています。NGTの時は地区長にお世話になりっぱなしです、今後は迷惑をかけぬように努力していきたいです。

沖縄県は講習会やプロテストを受けるにも飛行機に乗らないと行けず、またイベント時には前日入りが必要なことが多く、会場によっては帰りの便がなく泊まる必要性が出てきてしまい、県内のコーチ業をしている方々はなかなかライセンスに興味を持ってくれないのが現実です。とてもそれが残念ですが、これからの課題だと思っています。

私が27歳の時に沖縄県に帰ってきてからハマっているのが趣味である釣りです。福岡で5年職業コーチをしていた時も時間を見つけて1~2時間かけて釣りに行きましたが、沖縄の魚のポテンシャルの凄さやデカさに驚くとともにやみつきになり、1週間に1~2回は陸からのルアー釣り、1ヶ月に1回は船をチャーターして妻や友人と沖釣りに出かけます。私の密かな夢は遊漁船の資格を取り船宿もやりたいと思っています。（笑）

私の目標は、師と仰ぐ監督と九州テニス協会ジュニア委員長長のY氏であります。お二人のようにご自身の事は多くは語らず行動で人を魅了し続ける姿にあこがれますし、生徒・ジュニア・父兄からの尊敬・信頼が私とは比べ物になりません。いつか追いつけるように努力・精進し続けていきたいと思っています。

この様な私ですが“熱い”沖縄から元気いっぱい頑張っていきますので皆様よろしくお願ひします。沖縄に来られる時はぜひ一声おかけください。青い海と魚たちに囲まれた沖縄でお待ちしております。

<プロフィール>

- ①テニス歴 21年
- ②コーチ歴 12年
- ③ライセンス JPTA/USPTA プロフェッショナル3
- ④趣味 魚釣り
- ⑤レッスンのモットー 楽しく&わかり易く
- ⑥好きな言葉 石の上にも3年



# 地区便り [九州地区]



九州地区  
地区長 石津 吏

九州地区には約60名の会員がいます。北は福岡から南は沖縄までで合計8県です。地区会を行うにも車で福岡から鹿児島まで約4時間、沖縄は飛行機を利用しないと来ることが出来ないという簡単には集まらない地域です。そんな中、前回、熊本県で地区会を行いました。

少数ではありましたが久しぶりに見る顔や初めて参加してくれた若い会員達で話が盛り上がりました。今回の地区会は「地区会参加を増やす為には」をテーマとしました。もちろん皆が忙しいのはわかっていますが、新しい会員とベテラン会員の面識もなく、コミュニケーションをとったことがないので参加しづらいという声がありました。その為の地区会だったのですが、どうやら堅い会のイメージがあるようです。そこで、地区会とは別に「会員が集まるためのイベント:スクール生対抗戦をやろう」と、その時にコミュニケーションを図り、輪を広げて行こうということになり、来年度実施する予定で話がまとまりました。この場を借りて、九州の会員の皆様、案内が来ましたら奮って参加してください。

また、ジュニア委員会が毎年ジュニアスカウトキャラバンを行っています。その全国大会が2月に北九州(小倉)であります。体力測定などによる選手発掘とJPTAジュニアテニストーナメントです。九州地区はもちろん、全国の会員の皆様ご協力をよろしくお願い致します。これからも微力ながらテニス界のさらなる発展の為に活動したいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

## 地区会開催報告

地区会委員会 委員長 富岡 信也

### 平成24年度 地区会スケジュール

- 【東海地区】 9/2 安全管理講習会・地区会  
2/3 講演会(予定)
- 【九州地区】 9/9 地区会 9/10安全管理講習会
- 【関西地区】 1/20 安全管理講習会・地区会
- 【神奈川地区】 月例地区練習会

#### 神奈川地区

### 月例地区練習会 開催報告

- 試合形式  
当日抽選によるダブルス  
(女性15ハンデあり)
- 試合方法  
リーグ戦後、順位別トーナメント
- JPTAポイント  
1ポイント

実施日: 7月10日 (参加人員: 14名)  
優勝: 小林 祐樹・杉山 貴子 ペア  
準優勝: 石見 卓也・高橋 葉月 ペア

実施日: 10月14日 (参加人員: 18名)  
優勝: 石井 元治・杉山 貴子 ペア  
準優勝: 石井 亮平・森 信 ペア

実施日: 8月12日 (参加人員: 14名)  
優勝: 細谷 勝美・高橋 葉月 ペア  
準優勝: 井上 泰男・山内 卓 ペア

実施日: 11月18日 (参加人員: 12名)  
優勝: 石井 亮平・藤原 和久 ペア  
準優勝: 森 信・高橋 葉月 ペア

実施日: 9月9日 (参加人員: 16名)  
優勝: 石井 元治・森 信 ペア  
準優勝: 三森 康史・杉山 貴子 ペア

**平成24年度 2月・3月 スケジュール**

**2月**

日 程	委員会	内 容	場 所
3日	資格認定	セミナー・安全管理講習会	徳 島
3日	地区会	東海地区	名古屋
18日	特 別	選挙告示	事務局
22日~24日	ジュニア	ニュージェネレーションテニス 全国大会	北九州

**3月**

日 程	委員会	内 容	場 所
5日		常務理事会	事務局
14日		理事会	事務局
19日	特 別	投票締切	事務局
25日	特 別	開票・集計・確定	事務局

**平成25年度 4月~6月 スケジュール**

**5月**

日 程	委員会	内 容	場 所
1日 2日	プロテスト	江坂テニスクラブ	大 阪
9日		常務理事会	事務局
20日 21日	資格認定	講習会(つま恋)	静 岡
21日		理事会	事務局

**6月**

日 程	委員会	内 容	場 所
3日 4日	資格認定	講習会(アオノリゾート)	兵 庫
18日		総会・理事会	事務局

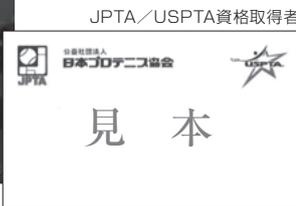
**会員サービス委員会より  
お知らせ**

**JPTA  
会員専用**

JPTAでは、その他にも会員価格でのグッズの販売や下記会員サービスを行っています。

**《 販 売 》**

- JPTAロゴマーク入り  
ブリヂストンスポーツオフィシャルボール  
(毎月末日締切:3か月後納品 / 例:7月末締切→10月上旬 納品)
- JPTA (USPTA)マーク入りの名刺  
※保持資格により異なります。  
※準会員様用名刺もございます。
- JPTAのぼり旗 (3種: W600×H1800mm)  
現在は3種類での販売としておりますが、「配色・文言」等、会員の皆様のお声を反映させていただき、今後は種類を増やしていく予定です。ご意見をお待ちしております。



**▼ 新ロゴマーク変更に伴うご案内**

品 名	納 品	新ロゴマーク発送
のぼり旗	1週間~10日	4/1 申込分より
ブリヂストン オフィシャルボール	3か月後	
名 刺	1週間~10日	

※ 但し3/31受付分までは 現状のロゴマークとなります。

**《 その他 》**

- ・慶弔見舞金制度により慶弔金・見舞金を受けることができます。  
※発生日より3か月以内の申請が必要となります。申請書は、ホームページにてご案内しております。  
※詳細記載
  - ・JPTAホームページ上に写真とプロフィールを公開することができます。
  - ・JPTA主催のセミナー、イベント、コンベンション等に会員価格にて参加することができます。
- その他、スクール共済制度、JPTAオフィシャルスクールの名称使用など(要申請・認定)、多数ご用意しております。



**【 販売価格・送料 】**

1枚: **1,000円** (税込)  
送料は会員様のご負担とさせていただきます。

**【 素材・サイズについて 】**

・布素材: テトロンボンジ  
・W600×H1800  
・ボール通し(チチ): 8箇所  
※ボールの販売はしていません。

**【 購入について 】** ご注文書に必要事項をご記入の上、事務局までFAXしてください。HP会員専用サイトからもダウンロードいただけます  
※別途送料が必要となりますのでご了承ください。

## プロテスト委員会 プロテスト(UPテスト) 資格昇級者

**日時: 7月5日(木)・6日(金)**  
**会場: メガロス千種 受験者数(新規含む): 8名**

会員番号	氏名	資格	勤務先
2788	葛城 恵三	P2	ロビングインドアテニスクラブ
3631	山内 正和	P2	コムズテニスラウンジ

**日時: 7月26日(木)・27日(金)**  
**会場: メガロス横濱 受験者数(新規含む): 17名**

会員番号	氏名	資格	勤務先
2983	岩佐 健司	P2	狛江インドアテニススクール

**日時: 9月4日(火)**  
**会場: MTP登美丘 受験者数: 3名**

会員番号	氏名	資格	勤務先
3687	林 陽介	P1	インドアテニススクールロングウッド

**日時: 10月3日(水)・4日(木)**  
**会場: TOPインドア亀戸 受験者数(新規含む): 8名**

会員番号	氏名	資格	勤務先
2781	高橋 延昌	P2	エバーグリーン
3409	江川 潤	P2	トップインドアステージ

**日時: 10月7日(日)・8日(月)**  
**会場: ロングウッド長久手 受験者数(新規含む): 14名**

会員番号	氏名	資格	勤務先
3320	濱口 太一	P1	ロングウッド長久手

### 資格認定研修事業部 2013年度スケジュール (資格認定講習会・プロテスト)

月	講習会		プロテスト	
	新規	UP	1日目	2日目
5月	新規		関西	
6月	新規	UP		
7月			東海	関東
8月	新規	UP		
9月	新規	UP		
10月	新規		関東	関西
11月	新規		九州	
2014 1月	UP	新規		
2月			関東	

【お問合せ】公益社団法人 日本プロテニス協会 資格認定研修事業部 TEL: 03-5791-1965 FAX: 03-5791-1966  
 <受付時間> 9:00~18:00 (土、日、祝日は休業日です)

## 新入会会員挨拶

※ 入会手続完了の新規会員様

氏名	資格	勤務先
<b>国仲 恵亮</b>	プロフェッショナル3	有限会社国仲スポーツ社
私は今、地元石垣島でテニスコーチをしています。ここでは本格的な指導者がいないので、テニス人口も多くはありません。これからは、7年間お世話になった江坂テニスセンターで学んだ、経験や知識、ノウハウをここで十分に生かしていき、子供達や、一般の方に、テニスの楽しさを広めていこうと思います。		
<b>林 直明</b>	プロフェッショナル3	株式会社 佐々テニス企画
この度、日本プロテニス協会の会員となれたことを嬉しく思います。私は今まで、プロコーチの方にテニスを指導して頂き、人生を豊かにして頂いたと感じています。さらに、日本プロテニス協会の知識・技術を受け取り、テニスファンを一人でも多く作るために今度は私が伝えていきたいと思っています。私が受けてきたと同様にテニスを通して人々の生活をより充実したものにしていきたいと考えています。これから宜しくお願い致します。		
<b>沖 大輔</b>	インストラクター	テニスラウンジ 栄スカイル校
テニスをより楽しく、わかりやすくレッスンを行っていきたく思います。もちろん、自分自身もテニスを、楽しむ気持ちを大切にしていきたいです。そして、一人でも多くの方に、テニスに出会ってよかったと思っただけのように、日々努力していきたいと思っています。		
<b>平山 勇人</b>	プロフェッショナル2	横浜テニスカレッジ東武ふなばし
みなさんこんにちは。横浜テニスカレッジに所属しています、平山勇人と申します。今回JPTAに入会させていただき運びとなりました。まだまだテニスコーチとしては新米な身分ですが、この現状に満足しないように、より一層の努力を怠めずにお世話になっている方々に約束します。今後ともよろしくお願い致します。		
<b>山本 貴博</b>	インストラクター	ロビング
今までは試合とレッスンのテニス人生でしたが、これからはJPTAで勉強したことを生かしていきたく思っております。		
<b>柴山 哲也</b>	プロフェッショナル2	ウノストロベリーテニス
はじめまして、この度入会させていただいた柴山と申します。私は左利きですのでテストで多少難しい部分もありましたが、頑張って合格できました。今回のテストや講習会で学んだ事を自分のレッスンに取り入れて、多くの生徒さんに解りやすく目に見えて上達できるレッスンをしていこうと思います。これから宜しくお願いします。		
<b>金内 健雄</b>	プロフェッショナル3	ティップネス鶴屋インドアテニススクール (VIP・TOP)
テニスコーチをして一番うれしいのは生徒さんの笑顔を引き出したときです。コーチをしている皆様も同じ気持ちであると思っています。コーチのプロが集まる世界で皆同じ想いであれば、もっと自分から学ぶことをしなければいけないこの度参加させていただきました。今回参加したことで沢山の指導者の方やテスターの方と出会うことができ、たくさんの情報が得られました。得た情報を現場やスタッフ指導に活かします！目指せP1!!		
<b>阿部 岬希</b>	インストラクター	株式会社エバーグリーン
JPTAに認定していただく事になりましたので、それに恥じないように日々努力を怠らぬように多くの知識、又技術力を身に付けることを決めています。そして今の認定に甘んずるのではなくさらに上の資格を目指すことを約束したいと思います。ご迷惑を掛けるとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。		
<b>檜垣 有一</b>	プロフェッショナル2	相模原インドアテニスクラブ
テニスの楽しさを伝え、ケガの無いように努めて、来ていただいた生徒さんが満足できるように毎日を精一杯に頑張りたいと思います。		
<b>高本 淳一</b>	プロフェッショナル3	相模原市テニス協会
テニス大好きなおじさんです。知人に講習会を紹介されて興味がありよいチャンスだと思って参加しました。講習内容が面白く引き付けられチャレンジに踏み切りました。自分では、まだまだ伸び代があると思っているので楽しんで学んでいきますのでよろしくお願い致します。		
<b>上村 悠介</b>	プロフェッショナル3	テニスラウンジ松坂校
私、上村悠介はテニスをする、またはこれから始めてみよう!と思っているすべての皆さんにテニスというスポーツの素晴らしさをこれからも伝えていくことをここに誓います! テニスラウンジと共にテニス界を大いに盛り上げていきたいと思っています。		
<b>齊藤 佳</b>	プロフェッショナル2	ヒットインドアテニススクール
中学高校大学と勝ちたい負けられないテニスをしてきました。学生テニスを引退し少しテニスと距離を置いてしまっていた私は社会人になりふとコートに行くと皆が笑顔でプレーしているエンジョイテニスの存在を知り改めてテニスをしたしたいと思います。テニスに出会って幸せだし出会ったことに感謝しているのでもっと多くの人にテニスの魅力を伝えられるようにそしてJrを育てていけるように日々勉強し頑張ります。よろしくお願い致します。		
<b>郡上 克利</b>	インストラクター	テニスラウンジ津校
今回の試験を経て、自分の引き出しの少なさを実感しました。これから、もっと精進して、引き出しを増やしていきたいと思いました。		
<b>佐々木 洋人</b>	プロフェッショナル3	テニスラウンジ緑校
今回取らせていただいた資格を持って、テニスコーチとしての自信を深め、日々のレッスンで一人でも多くの方へ、良いレッスンやコーチングを提供し、より多くの方へテニスの楽しさを感じてもらいたいと思います。また、今回の結果に満足せず、P2、P1を取れるよう、今後とも精進していきたいと思っています。		
<b>若林 駿</b>	プロフェッショナル3	三重グリーンテニスクラブ
この度、プロフェッショナルコーチとして、スタートしますが、まだまだこれからなのでしっかり勉強し、プロコーチとしての自覚を持って、指導にあたりたいと思います。		
<b>海本 純一</b>	プロフェッショナル3	
今回、JPTAに入会させていただくにあたり色々な経験をすることが出来ました。一緒に受けたコーチの方や、試験官のコーチの方に、貴重な話をたくさん聞かせてもらいました。入会してからも、いろんな方々と話し、身についた会話をより成長させ、少しでもこれから出会う人の背中を押せるように努力していきます。		
<b>都筑 尚将</b>	プロフェッショナル3	テニスラウンジ東浦校
テニスコーチである私の目標は3つあります。1つ目は、初めてテニスをする方に、テニスの楽しさ・面白さを伝えていくこと。2つ目は「趣味はテニス」と言ってもらえるようになること。3つ目は、テニスを通して仲間を輪を広げてもらうことです。3つ述べましたが、私がテニスコーチをやっている理由は、テニスを楽しんでいただく事に限ります。JPTA会員になった後もお客様に楽しんでいただけるよう心がけていきます。		
<b>堀 勇気</b>	プロフェッショナル3	宮の森スポーツ
この度、JPTA認定プロフェッショナル3になりました堀と申します。よろしくお願い致します。資格をいただいたからには、その能力を存分に活かし、レッスン内で発揮させていきたいと思っております。さらに上のレベルをめざし、日々向上していくつもりです。		
<b>若狭 恵子</b>	プロフェッショナル3	田川テニスクラブ
先輩方からご指導いただき今回JPTAへ入会させていただく事ができました。ご協力・応援ありがとうございました。これからJPTAの活動や日々のコーチ業から経験を積み重ね、自分のレベルを向上させて、地域性や女性の視点を生かしたテニスの普及・強化活動が出来るように成長していきたいと思っています。今後ともご指導よろしくお願い致します。		

## 平成25年度年会費請求書送付方法について

平成25年度年会費お支払いに伴い、年会費請求書・振替案内のご案内をいたします。  
お支払い方法によりまして請求書・振替案内のご郵送時期が異なりますので、ご確認をお願いいたします。

- 『三菱UFJニコス集金代行、振込のご対応の会員様』  
3月末頃を目途にJPTA事務局より請求書をご郵送。
- 『キャピタルシステムサービス(CSS)集金代行のご対応の会員様』  
4月上旬頃に集金代行業者(CSS)より振替案内(はがき)を直接ご郵送。

ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

## 平成25年度退会・ノンライセンス・シニア会員移行の手続きについて

退会(USPTAのみの退会含む)、ノンライセンス・シニア会員移行手続きにつきましては、JPTAウェブサイトの会員専用サイトにログイン後、各届出用紙のダウンロードをおこなってください。  
届出用紙にご記入、ご捺印のうえ、認定証と会員カード(紛失された方はその旨を届出用紙にご記入願います)を合わせて、下記提出期日までにご郵送をお願いいたします。

※届出原本のご郵送のみの受付となります

- 【提出期日】 平成25年3月29日(金)必着** (お早目の提出も受付いたします)  
**【会員専用サイトログイン パスワード】**  
**jpta1972A1** (全会員共通 / 半角英数字)

### おめでた

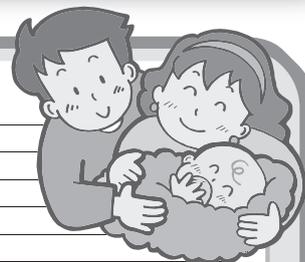
★ ご結婚	平成24年6月9日	木下 弘美 会員 木下 敬太 さま
	平成24年10月13日	岡本 裕貴 会員 小竹 さや香 さま
	平成24年11月23日	眞鍋 雄吉 会員 川本 眞智子 さま
	平成24年12月12日	尾崎 敦志 会員 尾崎 麻里子 さま
★ ご出産	平成23年12月12日	疋田 修 会員 野乃花(ののか) ちゃん
	平成24年5月16日	榎本 進 会員 心(しん) ちゃん
	平成24年5月26日	八田 一彦 会員 衣乃莉(いのり) ちゃん
	平成24年8月5日	今井 亮介 会員 茉央(まお) ちゃん
	平成24年9月20日	市野瀬 泰之 会員 陽仁(はると) くん
	平成24年10月7日	西村 愛理 会員 理都(りと) ちゃん
	平成24年10月8日	伊藤 明洋 会員 志帆(しほ) ちゃん
	平成24年10月21日	倉橋 勇介 会員 舞羽(まいは) ちゃん
	平成25年11月2日	山内 正和 会員 彩瀬(あやせ) ちゃん

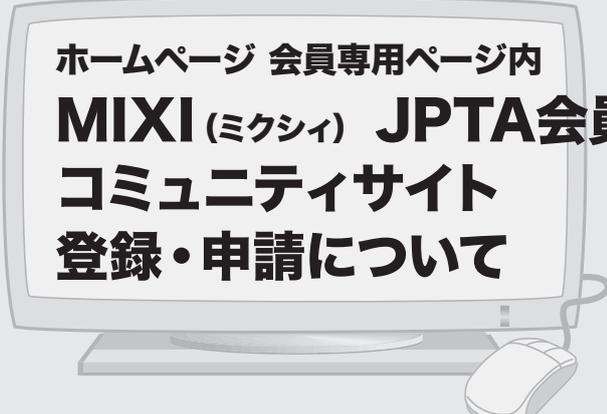
### おくやみ

平成24年7月22日	柴辻 伸子 会員 ご本人
平成24年7月27日	井上 啓子 会員 ご尊父 鈴木 省三 さま
平成24年10月23日	吉田 信之 会員 ご尊父 吉田 要一 さま
平成24年11月5日	古久根 純子 会員 ご本人
平成24年11月16日	丸山 弘一 会員 ご本人
平成24年12月16日	高田 豊 会員 ご母堂 高田 サワ枝 さま
平成25年1月8日	矢野 行宏 会員 ご尊父 矢野 正土 さま

#### \*申請方法\*

JPTA会員サイトより正会員慶弔届(PDF)をダウンロードし後、JPTA事務所へ郵送してください。  
尚、慶弔金の申請は発生日から3か月以内となります。





# ホームページ 会員専用ページ内 MIXI (ミクシィ) JPTA会員専用 コミュニティサイト 登録・申請について

ホームページ内に設けましたMIXIにご登録をご希望の方は、下記の手順にてご申請下さい。(こちらの登録、活用は任意です)

MIXIは身近な友達は勿論、普段は会えない友達や知り合いともコミュニケーションをとることができます。日記を書いたり、共通の趣味や好きな話題のコミュニティに参加して仲間を増やす事も、意見交換もすることが出来ます。

(今回設けましたJPTA会員専用コミュニティは、JPTA会員同士のコミュニケーションツールとなりますのでJPTA会員のみの参加となります)



すでにmixiの会員の方はそのままお入りください。まだ会員でない方はこちらまでご連絡ください。  
[kyokai@jpta.or.jp](mailto:kyokai@jpta.or.jp)

## 会員専用サイト JPTA Members Onlyより入り、登録作業をしてください。(図参照)

### MIXIに既に会員登録している方

- ① そのまま「入り口」から入る
- ② ログイン
- ③ 検索からJPTA と入力して検索
- ④ JPTA会員専用コミュニティ(会社・団体)が検索結果として表示
- ⑤ 「このコミュニティに参加」ボタンを押す
- ⑥ コメント欄に会員番号と氏名、コミュニティに参加希望と明記し、参加申請を送信
- ⑦ 協会事務局よりコミュニティの参加承認が返送

### MIXIに会員登録をされていない方

- ① 協会事務局代表メールに(jpta-info@jpta.or.jp)へMIXIのコミュニティ参加希望と会員番号と氏名を明記の上、送信。
- ② 協会より、MIXI会員登録の招待状が届く・・・その後はMIXI画面の説明に従い、登録をしてください。
- ③ 登録後は、左記「MIXIに既に会員登録している方」の①～同じ工程にてお進み下さい。



## JPTAホームページ 会員専用サイト

..... 求人広告掲載受付中 .....

ホームページの会員専用サイトに求人広告を掲載することができます。ご希望の方は下記項目をメールにてお送りください。

また、年2回の発行となりますJPTANEWSの人材募集コーナー(有料)も併せてご利用ください。

ご不明な点がございましたら、JPTA事務局までご連絡ください。

### 求人広告掲載内容詳細

<b>【求人広告掲載事項】</b> 会員専用サイトに掲載される項目です。	<b>【掲載期間】</b> 1か月 掲載の延期または期間内の掲載取り下げの際はお申し出ください。掲載はご申請頂いた日から作業の都合上、3日～5日のお時間を要する場合がありますのでご了承ください。
・ 会社名(クラブ名)	
・ 勤務地	
・ 職種	
・ 応募資格	
・ 待遇	
・ 問合せ先(担当者名含む)	<b>【掲載料】 無料</b> (当金は無料で掲載となります)

◀ 原稿送信・問合せ先 ▶ 広報委員会 事務局担当まで  
e-mail : [jpta-info@jpta.or.jp](mailto:jpta-info@jpta.or.jp)

メールの件名に「会員専用サイト求人掲載」とご入力ください。  
尚、原稿はお送り頂く前に、ご一報を頂けると幸いです。宜しくお願い致します。

## JPTA HOT NEWS 協会情報メール配信サービス

..... 登録受付中 .....

出来るだけリアルタイムな情報を会員の皆様へお届けする、メール配信サービス(JPTA HOT NEWS)をご希望の方はJPTAのホームページの会員専用サイトより入り、メール配信サービス登録フォームからメールアドレスをご登録ください。メール配信の利用料は無料ですが、インターネットの利用に伴う通信料は自己負担となりますので、ご了承ください。(配信は不定期となります)

### 【送信者】

パソコンの場合 **【公益社団法人 日本プロテニス協会】**

携帯の場合 **[jpta-haishin@jpta.or.jp]**

携帯にjpta-haishin@jpta.or.jpを公益社団法人日本プロテニス協会という名前で登録して頂ければ、今後、送信者欄に【公益社団法人日本プロテニス協会】と表示されます。

### 【件名】

**【 JPTA HOT NEWS 】** と表示されます。

ご利用上の注意点につきましては、JPTAホームページの会員専用サイトにてご確認ください。

### 【問い合わせ】

広報委員会 事務局担当まで

**TEL : 03-5791-1965 FAX : 03-5791-1966**

**E-mail : [jpta-haishin@jpta.or.jp](mailto:jpta-haishin@jpta.or.jp)**

## JPTA 公認企業・公認商品

会員は大いに利用し、生徒さん等関係者に薦めてください。

ラケット	Prince	グローブライド株式会社
ドリンク	ポカリスエット	大塚製薬株式会社
ウェア	YONEX	ヨネックス株式会社
ボール	BRIDGESTONE	ブリヂストンスポーツ株式会社
ストリングス	GOSEN	株式会社ゴーセン

## JPTA 推薦企業

スポーツサーフェス株式会社      大塚ターフテック株式会社      タムラクリエイト株式会社

## JPTA 賛助企業

JPTAは下記の企業の賛助を受けています。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	株式会社ダンロップスポーツマーケティング	株式会社ヤマハリゾート(つま恋)
東京ウエルネス株式会社	有限会社リックスコミュニケーションズ	株式会社ゴールドウイン
株式会社ナイキジャパン	ミラクル株式会社	ミズノ株式会社
ALSOK	プレミアムスイソ株式会社	

## 編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます！  
 今号も読み応えのある内容で届けたい！との一念で、編集部一同頑張りました。いかがでしたでしょうか？  
 間もなく役員選挙を迎えますが、JPTA NEWSは今後益々充実させていきたいですね！  
 ぜひ皆様のご意見・ご感想を事務局までお寄せください。

金丸 由紀

今回も事務局と金丸さんにおんぶに抱っこでしたが、自分なりに頑張りました！  
 これからもより良い情報をお届けできるよう協力させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。  
 皆さんも「こんな情報が欲しい！」みたいな事があれば、是非事務局まで！

辻野 隆三

JPTA会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。  
 2013年1月号は、いかがでしたでしょうか。  
 JPTAは、4月よりロゴマークを新しくし、またロゴマーク移行に伴いホームページをリニューアルいたします。会員の皆様に見たい！知りたい！おもしろい！と思っただけのような情報を発信していけるよう、より一層努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。皆様のご意見・ご感想お待ちしております。

神山 祐紀

JPTA会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。  
 本年もどうぞよろしくお願いいたします。  
 今回のJPTA NEWSも、とても充実した内容でお届けできるよう必死に頑張りました。もしかするとどなたかのNEWSには私の汗みれかもしれません(笑)  
 配信メールも回数を増やし、フレッシュな情報をお届けできるよう日々奮闘中です。是非ご登録いただきますようお願いいたします。  
 「こんな情報あったらいいな」がある！を目標にたくさんの方の情報を皆様と共有できるよう頑張ります。ご意見・ご感想お待ちしております。

米津 瑠美